

LUMIX



Panasonic®

取扱説明書 デジタルカメラ

品番 DC-TX3

保証書付き

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～8ページ)を必ずお読みください。
- さらに詳しい操作説明は、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)に記載されています。
Web サイトからダウンロードしてお読みください。(88ページ)
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- パナソニックの会員サービス「CLUB Panasonic」に「商品登録」をお願いします。詳しくは、94ページをご覧ください。

パナソニック株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Corporation 2026

安全上のご注意

準備・基本操作

撮る

見る

メニュー

Wi-Fi/Bluetooth

その他・Q&A




DVQX2940ZA
M0326KZ0

目次

必ずお読みください

安全上のご注意4～8

準備・基本操作	撮る	見る
ご使用の前に..... 9	[iA] カメラにおまかせで撮る... 25	画像を見る 48
付属品 10	絞り値とシャッタースピードを 決めて撮る 26	再生方法を切り換える 49
各部の名前と働き 11	[C1] / [C2] お好みの設定を 登録して撮る 28	写真や動画を消す (消去) 50
すぐに撮影してみる 14	[SCN] 撮影シーンに合わせて撮る... 29	メニュー
バッテリーを充電する..... 14	[] 画像効果を変えて撮る..... 29	メニュー一覧..... 51
カード (別売) を 入れる・取り出す 17	自動でピントを合わせる 30	Wi-Fi/Bluetooth
カードについて 17	近づいて撮る (マクロ撮影)..... 30	Wi-Fi®/Bluetooth® 機能でできること... 61
電源を入れて、 時計を設定する..... 18	手でピントを合わせる 31	Wi-Fi/Bluetooth 機能について.. 62
カメラの構え方 19	ピントや露出を固定する (AF/AE ロック)..... 32	スマートフォンと接続する 63
撮影モードを選ぶ 19	露出を補正して撮る 32	スマートフォンとつないで使う... 67
写真を撮る 20	ホワイトバランスを調整する..... 33	その他・Q&A
ズームを使って撮る 20	ドライブモードを選ぶ (連写 / セルフタイマー)..... 34	写真や動画をパソコンに残す 74
リング / ダイヤル操作 21	4K フォトで撮る 35	モニターの表示一覧 76
タッチパネル (タッチ操作)..... 21	撮影後にピントを操作する (フォーカスセレクト / フォーカス合成) 39	メッセージ表示 80
メニューを使って設定する 22	設定を自動的に変えながら撮る (ブラケット撮影) 42	Q&A 故障かな?と思ったら 81
メニューをすぐに呼び出す (クイックメニュー)..... 23	フラッシュを使って撮る 43	使用上のお願いとお知らせ 84
ファンクションボタンに機能を 割り当てる 24	動画を撮る 44	無線機能 (Wi-Fi® / Bluetooth®) 使用上のお願い 87
		さらに詳しい説明は 88
		仕様 89
		保証とアフターサービス 92

■取扱説明書について

取扱説明書（本書）

安全上のご注意、時計設定、撮影 / 再生、Wi-Fi / Bluetooth 接続など、カメラの基本的な操作を記載しています。

取扱説明書 活用ガイド (Web サイトからダウンロード)

それぞれの機能について、さらに詳しい操作説明を記載しています。(P.88)

- 本書で説明する製品の外観と仕様は、実際とは異なる場合があります。
- 本書の画像やイラストは、機能や効果を説明するためのイメージです。

■本文中の記号について

MENU [MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。



上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

メニュー設定の手順を次のように説明しています。

MENU ボタン → **【撮影】** → **【クオリティ】** → **[.±.]**

アイコンが黒く表示されている撮影モードでは、記載されているメニューや機能を選択 / 実行できません。

- **C1** / **C2** (カスタムモード) は登録した撮影モードによって使える機能が変わります。

撮影モード： **P** **A** **S** **M** **SCN**

- リング、ダイヤル、レバーの操作を次のように表します。




コントロールリングを回す	
後ダイヤルを回す	
ズームレバーを回す	

安全上のご注意



必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 危険	「死亡や重傷を負うおそれ が大きい内容」です。
 警告	「死亡や重傷を負うおそれ がある内容」です。
 注意	「軽傷を負うことや、財産 の損害が発生するおそれ がある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーパック*は、誤った使いかたをしない
(*以降は、「バッテリー」と表記)



- 液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。
- 指定外のもの使わない
 - 分解や加工（はんだづけなど）、加圧、加熱（電子レンジやオープンなどで）しない
 - 水などの液体や火の中へ入れたりしない
 - 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
 - 極端に気圧が低い場所で充電・使用しない
 - 端子部（⊕・⊖）に金属を接触させない
 - 落下や衝撃を与えない
 - バッテリーの液もれが起こったら、お買い上げの販売店にご相談ください。液が身体や衣服についたら、水でよく洗い流してください。液が目に入ったら、失明のおそれがあります。すぐにきれいな水で洗い、医師にご相談ください。

バッテリーの充電は、本体または専用のバッテリーチャージャー*を使用し、指定された方法で行う
(*以降は、「チャージャー」と表記)



- 指定以外の方法で充電すると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをする原因になります。



警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



異常があったときには、バッテリーを外す

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体や AC アダプターが破損した

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- AC アダプターを使っている場合は、電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグがすぐ抜けるよう、AC アダプターは容易に手が届く位置にある電源コンセントに接続してください。
- 電源を切り、販売店にご相談ください。

電源プラグは、正しく扱う



感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 定期的に乾いた布でふく（ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります）
- 根元まで確実に差し込む

AC アダプターは、誤った使いかたをしない



感電や、ショートによる火災の原因になります。

- 加工しない・傷つけない
- 熱器具に近づけない
- 傷んだら使わない
- 差し込みがゆるい電源コンセントには使わない
- たこ足配線や定格外の入力電圧では使わない
- ぬれた手で抜き差ししない

分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止



警告

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電・故障の原因になります。

- 機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない



火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わない

雷が鳴ったら、触れない



感電の原因になります。

- 本体や AC アダプターには、金属部がありません。

接触禁止

フラッシュの発光部や AF 補助光を至近距離で人に向けない



運転者に向かって使用すると、事故の誘発につながります。

視覚障害などの原因になることがあります。

- 乳幼児を撮影するときは、1 m 以上離してください。

メモリーカードは乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだら、すぐ医師にご相談ください。



警告

電源を入れたまま長時間、直接触れて使用しない



本機の温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど*の原因になります。

- 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。

* 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

病院内や航空機内など、使用が禁止／制限されている場所では、電源を切る／無線機能を無効にするなどの指示に従う



本機からの電磁波などが、機器類に影響を及ぼすことがあります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは電源を切る



本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。



注意

フラッシュの発光部を人体やものでふさがない、ごみなどの異物が付いたまま使わない



やけどや発光熱による発煙の原因となることがあります。

レンズを太陽や強い光源に向けたままにしない



集光により、内部部品が破損し、火災の原因になることがあります。

次のような場所に放置しない



- 火災や感電の原因になることがあります。
- 異常に温度が高くなる場所（特に真夏の車内やボンネットの上など）
 - 油煙や湯気の当たるところ
 - 湿気やほこりの多いところ

次のときは、電源プラグを抜く・バッテリーを取り出す



通電状態、またはバッテリーを入れたまま放置すると、絶縁劣化やろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- 長期間使わないとき
- お手入れのとき

布で覆うなど、本機、ACアダプターの放熱を妨げない



内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

ご使用の前に

■本機の取り扱いについて

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
 - 本機を落とす、またはぶつける
 - 本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる
 - 本機に取り付けたストラップに、アクセサリーなどをぶら下げる
 - レンズ部やモニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
 - 砂やほこりの多いところ
 - 雨の日や浜辺など水がかかるところ

モニターに砂やほこり、水滴などの液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

- タッチ操作が誤認識される場合があります。

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけないでください。

ゴムやビニール製品に本機を接触させたままにしないでください。

■露付きについて

(レンズやモニターが曇るとき)

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやモニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権にお気をつけください

あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

付属品



付属品をご確認ください。
(品番は 2026 年 4 月現在)

バッテリーパック DMW-BLG10

- 充電してからお使いください。
(本書では、「バッテリー」と表記します)



ハンドストラップ VFC4297



- **メモリーカードは別売（市販）です。**
- 充電用の AC アダプターと USB 接続ケーブルは同梱されていません。「バッテリーを充電する」(P.14)をよくお読みのうえ、別売品または市販品をお使いください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

■別売品のご紹介（品番は 2026 年 4 月現在）

バッテリーパック DMW-BLG10

バッテリーチャージャー*1 DMW-BTC12

(充電時間：約 150 分)

AC アダプター*2 DMW-AC11

(充電時間：約 190 分)

*1 AC アダプター、USB 接続ケーブル（チャージャー用）付き

*2 電源コード、USB 接続ケーブル付き

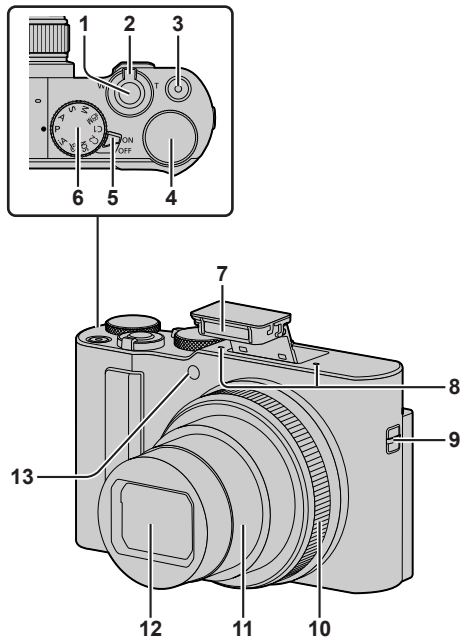
付属品や別売品は販売店で買い求めいただけます。

パナソニックの公式通販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはサイトをご覧ください。

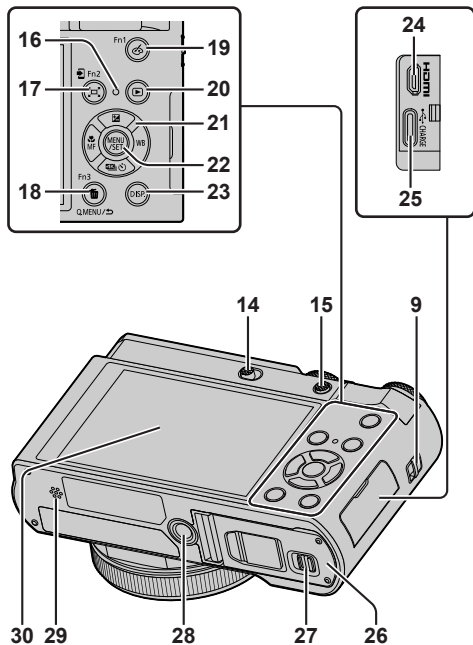
パナソニックの公式通販サイト
<https://panasonic.jp/store/>



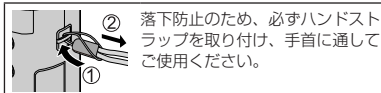
各部の名前と働き



- 1 シャッターボタン (P.20)
- 2 ズームレバー (P.20)
- 3 動画ボタン (P.44)
- 4 後ダイヤル (P.21)
- 5 電源スイッチ (P.18)
- 6 モードダイヤル (P.19)
- 7 フラッシュ発光部 (P.19、43)
- 8 ステレオマイク
指などで塞がないようにしてください。
音が記録されにくくなります。
- 9 ストラップ取り付け部 (P.12)
- 10 コントロールリング (P.21)
- 11 レンズ鏡筒
- 12 レンズ面
- 13 セルフタイマーランプ / AF 補助光ランプ



9 ストラップ取り付け部



落下防止のため、必ずハンドストラップを取り付け、手首に通してご使用ください。

14 フラッシュオープンレバー (P.43)

15 [AF/AE LOCK] ボタン (P.32)

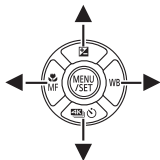
16 充電ランプ (P.15) /
ワイヤレス WIRELESS 接続ランプ (P.62)17 [ZOOM] (ズームバック) ボタン (P.20) /
[スマートフォン転送] ボタン /
[Fn2] ボタン (P.24)18 [消去] (消去) ボタン (P.50) /
[クイックメニュー] [Q.MENU] ボタン (P.23) /
[戻る] (戻る) ボタン (P.22) /
[Fn3] ボタン (P.24)19 [フィルター効果] (フィルター効果) ボタン (P.29) /
[Fn1] ボタン (P.24)

20 [再生] (再生) ボタン (P.48)

21 カーソルボタン

項目の選択や、数値の設定などができます。

- 本書ではカーソルボタンの上下左右を ▲▼◀▶ で表します。



[] (露出補正) (▲) (P.32)

[WB] (ホワイトバランス) (▶) (P.33)

[] (ドライブモード) (▼) (P.34)

[MF] (フォーカスモード) (◀) (P.30、31)

22 [MENU/SET] ボタン (P.22)

メニュー セット

23 [DISP.] ボタン

ディスプレイ
画面の表示を切り換えます。

24 [HDMI] 端子

本機とテレビを HDMI マイクロケーブルで接続すると、写真や動画をテレビで見ることができます。

25 [USB/CHARGE] 端子 (P.15)

チャージ

26 カード / バッテリー扉 (P.15、17)

27 開閉レバー (P.15、17)

28 三脚取り付け部

ねじの長さが 5.5 mm 以上の三脚を取り付けると、本機を三脚にしっかり固定できない場合や、本機を傷つける場合があります。

29 スピーカー

30 タッチパネル (P.21) / モニター (P.76)

ファンクションボタン [Fn4] ~ [Fn8] は、タッチアイコンです。

撮影画面の [] タブをタッチすると表示されます。

すぐに撮影してみる

バッテリーを充電する

AC アダプター（別売／市販）と USB 接続ケーブル（市販）を使用して充電してください。

- 充電には当社製の AC アダプター（別売：DMW-AC11）を推奨します。
- バッテリーチャージャー（別売：DMW-BTC12）でも充電できます。
- 本機は市販の AC アダプターや USB 接続ケーブルで充電できます。
 - 市販品の AC アダプターの推奨仕様
 - DC 5 V / 3 A (15 W) 出力対応
 - USB Type-C 端子
 - 充電には 15 W 出力以上の USB 接続ケーブルをお使いください。
- 充電には 5 V / 500 mA 以上の AC アダプターも使用できます。ただし、推奨の AC アダプターより充電時間が長くなる場合があります。
- 市販されているすべての機器との動作を保証するものではありません。

- お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。充電してからお使いください。
- AC アダプターを使用して充電するときは、本機にバッテリーを入れた状態で充電してください。

本機の状態	充電
電源オフ	できます
電源オン	できません

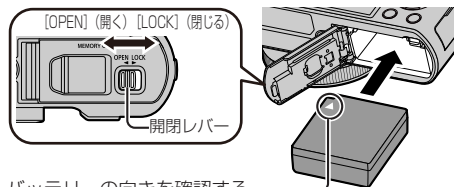
■本機で使えるバッテリー（2026年4月現在）

本機で使えるバッテリーは DMW-BLG10 です。

- 本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。温度が高すぎたり低すぎたりすると、使用時間が短くなります。
- パナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めします。純正品以外のバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。純正品以外のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、弊社では、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 使用後は、必ずバッテリーを取り出してください。取り出したバッテリーはポリ袋などに入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。

バッテリーを入れる

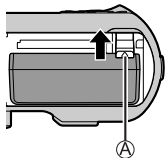
- 1 開閉レバーを [OPEN] 側にスライドし、カード/バッテリー扉を開ける
- 2 バッテリーを奥まで入れる
 - バッテリーを奥まで確実に挿入し、バッテリーにレバー (A) がかかっていることを確認する。
- 3 カード/バッテリー扉を閉め、開閉レバーを [LOCK] 側にスライドする



バッテリーの向きを確認する

■取り出す

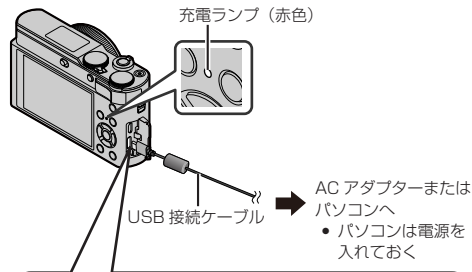
- レバー (A) を矢印方向へ引く
- バッテリーの取り出しは、電源を切り、画面の LUMIX 表示が消えてから行ってください。
 - 使用後は、バッテリーを取り出してください。



充電する

充電は周囲の温度が 10 °C ~ 30 °C (バッテリーの温度も同様) のところで行うことをお勧めします。

本機にバッテリーを入れてください。
電源が切れていることを確認してください。



[USB/CHARGE] 端子

- 下側にある端子です。
- 端子の向きを確認し、まっすぐ入れる。
(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります)
また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

■電源コンセントから充電する場合

本機を USB 接続ケーブルで AC アダプターにつなぎ、AC アダプターを電源コンセントに差し込む。

- 電源スイッチを [OFF] にして電源を切った状態でも、電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。


■パソコンから充電する場合

本機を USB 接続ケーブルでパソコンの USB 端子につなぐ。

- 充電中にパソコンが休止状態になると、充電が中止されることがあります。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合は、ノートパソコンの電池が消耗していきます。そのまま長時間放置しないでください。
- 必ずパソコン本体の USB 端子に接続してください。モニターやキーボード、プリンターの USB 端子や USB ハブには接続しないでください。

■充電ランプ表示（赤色）

点灯	充電中
消灯	充電終了（電源コンセントまたはパソコンとの接続を解除してください）
点滅	充電エラー（対処方法：81 ページ）

- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- 充電が完了してもバッテリー残量表示が  にならない場合は、バッテリーが劣化している可能性があります。該当バッテリーのご使用はお控えください。

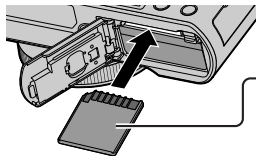
■充電時間

- AC アダプター（別売：DMW-AC11）またはバッテリーチャージャー（別売：DMW-BTC12）を使用時の充電時間（P.10）
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温 / 低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。
- パソコンからの充電時間は、パソコンの給電能力によって異なります。

カード（別売）を入れる・取り出す

電源が切れていることを確認してください。

- 1 開閉レバーを [OPEN] 側にスライドし、カード / バッテリー扉を開ける
- 2 カードを奥へ、「カチッ」と音がするまで押し込む



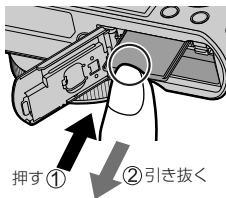
- カードの向きを確認する
- 端子部には触れない

- 3 カード / バッテリー扉を閉め、開閉レバーを [LOCK] 側にスライドする

■取り出す

カードの中央を押す

- カードの取り出しは、電源を切り、画面の LUMIX 表示が消えてから行ってください。



押す① 引き抜く②

カードについて

SD 規格に準拠した次のカードが使用できます。

- 本書では、SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードの総称をカードと表記します。

SD メモリーカード /
SDHC メモリーカード /
SDXC メモリーカード
(最大 512 GB)

本機は UHS-I UHS Speed
Class 3 規格の SDHC / SDXC
メモリーカードに対応しています。

■動画撮影や 4K フォトの撮影とスピードクラスについて

以下の SD スピードクラスや UHS スピードクラスに対応したカードをお使いください。

		スピードクラス	表示の例
[画質設定]	FHD/HD	Class 4 以上	CLASS 4 ④
	4K/ ハイスピード 動画	UHS Speed Class 3	U3
4K フォト/ フォーカスセレクト 撮影時			

■カードをフォーマット（初期化）する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。フォーマットするとデータを元に戻すことができません。必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

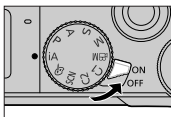
MENU ボタン → [セットアップ] → [フォーマット]

電源を入れて、時計を設定する

お買い上げ時は日時が設定されていません。

1 電源スイッチを [ON] にする

- お買い上げ時、電源を入れると [時計を設定してください] と表示されます。



2 [MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀▶ で合わせたい項目 (年・月・日・時・分) を選び、▲▼ で設定する



4 [MENU/SET] ボタンを押す

5 [時計を設定しました] と表示されたら、[MENU/SET] ボタンを押す

6 [ホームエリアを設定してください] と表示されたら、[MENU/SET] ボタンを押す

7 ◀▶ でお住まいの地域を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

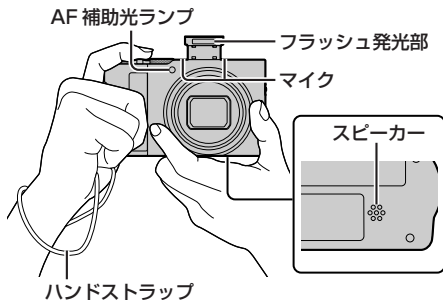


- タイムゾーンは国や地域によって改正される場合があるため、画面に表示される地名と実際のタイムゾーンが一致しない場合があります。画面下部に表示される時差も確認のうえ設定してください。

カメラの構え方

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

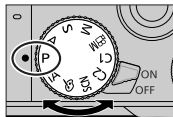
- 落下防止のため、必ずハンドストラップを取り付け、手首に通してご使用ください。
- フラッシュ発光部や AF 補助光ランプ、マイク、スピーカーを指などで塞がないでください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつけてください。
- 足場が安定しているか確認し、周囲の人や物などにぶつからないよう気をつけて撮影してください。



撮影モードを選ぶ

1 モードダイヤルを切り換える

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。
- モードダイヤルを [iA] に合わせると、主要な機能が自動で設定されます。



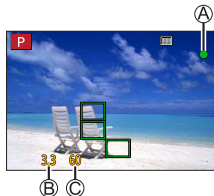
iA	インテリジェントオートモード (P.25)
	インテリジェントオートプラスモード (P.25)
P	プログラム AE モード (P.26)
A	絞り優先 AE モード (P.26)
S	シャッター優先 AE モード (P.26)
M	マニュアル露出モード (P.27)
M	クリエイティブ動画モード (P.46)
C1/ C2	カスタムモード (P.28)
SCN	シーンガイドモード (P.29)
	クリエイティブコントロールモード (P.29)

写真を撮る

- 1 シャッターボタンを半押し（軽く押す）して被写体にピントを合わせる



- 絞りとシャッタースピードが表示されます。（フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します）



- ①：フォーカス表示（緑色）
（ピントが合う：点灯
ピントが合わない：点滅）
- ②：絞り値
- ③：シャッタースピード

- 2 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

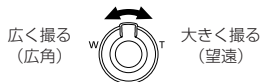


- 【フォーカス/レリーズ優先】を【フォーカス】に設定時は、ピントが合うまで撮影できません。

撮影した画像を確認する

- 【再生】ボタンを押す。（P.48）

ズームを使って撮る



光学ズーム	画質を劣化させずに最大 15 倍まで拡大します。
EX 光学ズーム	【EX】付きの記録画素数（P.53）を選び働きます。画質を劣化させずに最大 30 倍まで拡大します。（光学ズームの倍率を含みます）
iA ズーム（P.51、52）	画質の劣化を抑えつつ、元のズーム倍率の 2 倍までズーム倍率を上げることができます。（【記録画素数】が【S】の場合は、元のズーム倍率の 1.5 倍まで）
デジタルズーム（P.51、52）	元のズーム倍率の最大 4 倍まで拡大できます。ただし、ズームするほど画質は粗くなります。（iA ズーム併用時は、iA ズームとの合計ズーム倍率が 4 倍までになります）

- 次の場合、デジタルズームは使用できません。
 - 【モニター表示速度】を【30fps】に設定時（お買い上げ時の設定）

見失った被写体をズームバックで見つける

望遠時に被写体を見失ったら

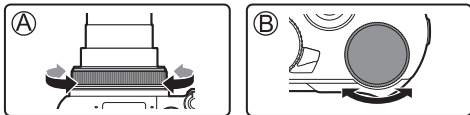
- ① 【】（ズームバック）ボタンを押したままにする
- 直前の倍率（画角）を示す枠が表示されます。

被写体を見つけたら

- ② 被写体を枠に合わせて、ボタンから指を離す

リング / ダイヤル操作

撮影時は、コントロールリング (A) / 後ダイヤル (B) で設定を変更することができます。



以下はあらかじめ割り当てられている設定です。

- 絞りとシャッタースピードの操作方法は、各撮影モードのページをお読みください。

モードダイヤル	コントロールリング※1	後ダイヤル
iA	ステップズーム	—
P	プログラムシフト	
A	絞り調整	
S	シャッタースピード調整	
M	絞り調整	シャッタースピード調整
CM	絞り調整 / シャッタースピード調整	
SCN	絞り調整※2 / シャッタースピード調整※3	
Fn	画像効果変更	

※1 マニュアルフォーカス設定時、コントロールリングはピント調整に割り当てられます。

※2 [料理をおいしそうに撮る] に設定時のみ操作できます。

※3 [夜景をアーティストチックに撮る] に設定時のみ操作できます。

- 割り当てられた操作は、[リング / ダイヤル設定] (P.52) から、それぞれをお好みの設定に変更することもできます。

タッチパネル (タッチ操作)

■ タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。



■ ドラッグする

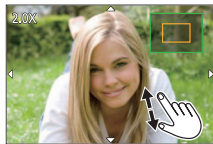
タッチパネルに触れたまま動かす動作です。



■ ピンチする

(広げる / 縮める)

タッチパネルを2本の指で広げる (ピンチアウト) と拡大し、縮める (ピンチイン) と縮小します。









メニューを使って設定する

1 [MENU/SET] ボタンを押す

2 メニューの種類を切り換える

- ① ◀ を押す
- ② ▲▼ で [🔧] などのタブを選び
- ③ [MENU/SET] ボタンを押す



 【撮影】メニュー (P.51)	画像横縦比、画素数、4K フォトなどを設定できます。
 【動画】メニュー (P.51)	画質などが設定できます。
 【カスタム】メニュー (P.52)	画面の表示方法やボタンの動きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。
 【セットアップ】メニュー (P.52)	時計設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi/Bluetooth 機能に関する設定もできます。
 【マイメニュー】 (P.53)	よく使うメニューを登録することができます。
 【再生】メニュー (P.53)	画像の再生や編集の設定ができます。

- 各撮影モードでのみ表示されるメニュー (P.51)

3 ▲▼ でメニュー項目を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- 後ダイヤルを回して、ページを切り換えることができます。

4 ▲▼ で設定内容を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- メニュー項目により、設定方法が異なります。

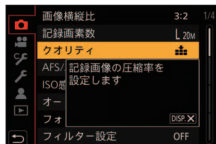


5 撮影 / 再生画面に戻るまで、繰り返し [↵] ボタンを押す

- シャッターボタンを半押ししてもメニュー画面を終了できます。(撮影画面に戻ります)



- メニュー項目や設定内容を選択中に [DISP.] ボタンを押すと、メニューの説明が表示されま
す。



- 設定できないメニュー項目はグレーで表示され
ます。一部の設定状況では、グレーのメニュー
項目を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと、
設定できない理由が表示されます。

メニューをすぐに呼び出す (クイックメニュー)

撮影時、一部のメニュー項目を簡単に呼び出して設定で
きます。

- 1 [Q.MENU] ボタンを押す
- 2 後ダイヤルを回してメニュー項目を
選び、▼または▲を押す
 - ◀▶でも選択できます。



- 3 後ダイヤルを回して設定内容を選
ぶ
 - ◀▶でも選択できます。
- 4 [Q.MENU] ボタンを押して
クイックメニューを終了する

ファンクションボタンに機能を割り当てる

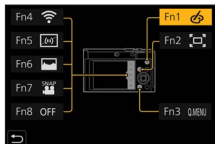
特定のボタンやアイコンに、よく使う機能を割り当てることができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [カスタム] → [操作]
→ [Fn ボタン設定]

設定：[撮影時設定] / [再生時設定]

2 ▲▼で機能を割り当てたいファンクションボタンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



3 ▲▼で割り当てる機能を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



■お買い上げ時のファンクションボタン設定

[撮影時設定]	[Fn1]：フィルター効果 [Fn2]：ズームバック [Fn3]：Q.MENU [Fn4]：Wi-Fi [Fn5]：水準器表示 [Fn6]：ヒストグラム表示 [Fn7]：スナップムービー [Fn8]：OFF*1
[再生時設定]	[Fn1]：Wi-Fi [Fn2]：スマートフォンに画像を送る

*1 ファンクションボタンに機能が設定されていない状態です。

- ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。
- モードや表示画面によっては、使えない機能もあります。
- ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、手順 **3** で [デフォルトに戻す] を選んでください。

■素早く機能を割り当てる

ファンクションボタン ([Fn1] ~ [Fn3]) を長押し (2 秒) すると、手順 **3** の画面を表示できます。(登録した機能や表示画面などによっては、表示できない場合もあります)

[iA] カメラにおまかせで撮る

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

1 モードダイヤルを [iA] に合わせる

- お買い上げ時の設定：[iA⁺]

2 被写体にカメラを向ける

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンに変わります。(自動シーン判別)



■ [iA⁺] と [iA] を切り換える

MENU ボタン → iA / iA⁺ [インテリジェントオート]
→ [インテリジェントオートモード]

設定：iA (インテリジェントオートモード) /

iA⁺ (インテリジェントオートプラスモード)

- [iA⁺] は、[iA] の設定に加えて明るさや色合いなどの設定を変更できるので、よりお好みに合わせた撮影ができます。

■ オートフォーカス (顔・瞳認識)



オートフォーカスモードは自動で [顔] に設定されません。被写体をタッチすると [瞳] に切り換わり、追尾 AF 機能が働きます。

- [MENU/SET] ボタンを押し、[撮影] メニューの [オートフォーカスモード] で [瞳] (追尾) を選択しても、[瞳] に切り換わります。被写体を追尾 AF エリアに合わせ、シャッターボタンを半押しすると追尾 AF 機能が働きます。

■ フラッシュ

フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で [iA], [iA⁺] (赤目軽減オート)、[iA⁺] または [iA^S] に設定します。

- フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。(P.43)

絞り値とシャッタースピードを決めて撮る

設定できる値は、絞り値、シャッタースピード、ズーム位置などの組み合わせによって変わります。

- シャッターボタン半押し時に適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色点滅します。

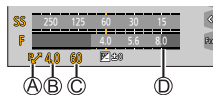
【P】プログラム AE モード

被写体の明るさに応じて、絞り値とシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

絞り値とシャッタースピードの組み合わせを変更する

プログラムシフトを使うと、プログラム AE モードでも絞り値やシャッタースピードを調整して撮影できます。

- モードダイヤルを【P】に合わせる
- シャッターボタンを半押しする
- 数値が表示されている間（約 10 秒間）に、後ダイヤルを回してプログラムシフトする
 - プログラムシフトを解除するには、電源を切るか、プログラムシフト表示が消えるまで後ダイヤルを回してください。

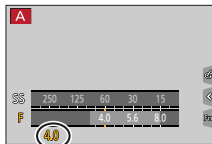


- （A）：プログラムシフト表示
- （B）：絞り値
- （C）：シャッタースピード
- （D）：露出メーター

【A】絞り優先 AE モード

絞り値を決めて撮影します。

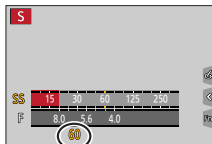
- モードダイヤルを【A】に合わせる
- 後ダイヤルを回して絞り値を設定する



【S】シャッター優先 AE モード

シャッタースピードを決めて撮影します。

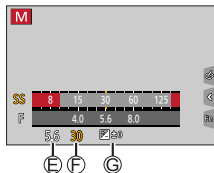
- モードダイヤルを【S】に合わせる
- 後ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する



[M] マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを決めて撮影します。

- 1 モードダイヤルを [M] に合わせる
- 2 コントロールリングを回して絞り値を、後ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する
 - ▲ を押すと、コントロールリングと後ダイヤルの設定操作を切り換えることができます。



- Ⓔ：絞り値
- Ⓕ：シャッタースピード
- Ⓖ：マニュアル露出アシスト

絞り値とシャッタースピードに ISO 感度を合わせる

ISO 感度を [AUTO] に設定時、設定した絞り値とシャッタースピードで適正露出になるように、ISO 感度をカメラが自動的に設定します。

マニュアル露出アシスト（目安）



適正露出



明るく写る



暗く写る

■T（タイム）（最大約 120 秒間）

シャッタースピードを T（タイム）に設定し、シャッターボタンを全押しすると、シャッターが開いた状態になります。シャッターボタンをもう一度押しと、シャッターが閉じます。



- タイム撮影時は、手ブレ防止のために三脚を使用し、スマートフォンと Wi-Fi 接続してリモート撮影することをお勧めします。Bluetooth 接続時は、バルブ撮影もできます。（P.69）
- タイム撮影をすると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、[撮影] メニューの [長秒ノイズ除去] を [ON] にして撮影することをお勧めします。

■常時プレビュー（Mモード）

[カスタム] メニュー（モニター/表示）の [常時プレビュー（Mモード）] を [ON] に設定すると、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果の確認ができます。

撮影時の効果を確認する (プレビューモード)

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**  **SCN** 

撮影時の絞り効果を撮影画面で確認できます。また、シャッタースピード効果も同時に確認することができます。

([プレビュー] を [Fn3] に設定時)

1 [Fn3] ボタンを押して効果確認画面を切り換える

- 押すごとに画面が切り換わります。
 - 通常撮影画面
 - 絞り効果確認画面
 - 絞り効果とシャッタースピード効果確認画面


- ファンクションボタンの設定については、24 ページをお読みください。

[C1]/[C2] お好みの設定を登録して撮る

設定を登録する (カスタムセット登録)

現在のカメラの設定内容を [カスタムセット登録] で4つまで登録しておくことができます。([C1]、[C2-1]、[C2-2]、[C2-3])

準備：あらかじめ撮影モードやメニューを設定して、本機の設定を保存したい状態にしておく。

MENU ボタン →  [セットアップ]
→ [カスタムセット登録] → 登録したいカスタムセット

登録したカスタムセットで撮る

- 1 モードダイヤルを [C1] / [C2] に合わせる
 - [C2] は、[C2-1] ~ [C2-3] のうち最後に使ったカスタムセットが呼び出されます。

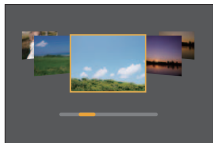
■ [C2] のカスタムセットを変更するとき

- ① モードダイヤルを [C2] に合わせる
- ② [MENU/SET] ボタンを押して、メニューを表示する
- ③ ▲ ▼ で使いたいカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

【SCN】 撮影シーンに合わせて撮る

被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、シーンに合った撮影ができます。

- 1 モードダイヤルを【SCN】に合わせる
- 2 ◀▶ でシーンを選ぶ



- [DISP.] ボタンを押すと、通常表示 → ガイド表示*1 → 一覧表示の順に表示が切り替わります。
*1 各シーンの詳しい説明や撮影のヒントが表示されます。

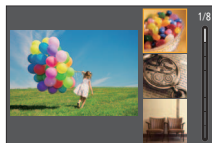
3 【MENU/SET】 ボタンを押す

- シーンを変更したい場合は、[シーンガイド]メニューで [シーン切換] を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと手順 2 に戻ります。

【🌀】 画像効果を変えて撮る

画像に効果を加えて撮影することができます。

- 1 モードダイヤルを【🌀】に合わせる
- 2 ▲▼ で画像効果（フィルター）を選ぶ



- [DISP.] ボタンを押すと、通常表示 → ガイド表示*1 → 一覧表示の順に表示が切り替わります。
*1 各画像効果の説明が表示されます。

3 【MENU/SET】 ボタンを押す

■ フィルター効果

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

【🌀】（フィルター効果）ボタンを押して、手順 2 の画面を表示できます。クリエイティブコントロールモードと同じ画像効果（フィルター）を加えることができます。

自動でピントを合わせる

撮影モード：

被写体や撮影状況に合わせて、さまざまなシーンに対応した自動でのピント合わせができます。

1  ボタン (◀) を押す

2 ◀▶ で [AF] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [撮影] メニューで、以下を設定してください。
 - [AFS/AFF/AFC] (P.54)
 - [オートフォーカスモード] (P.55)

3 シャッターボタンを半押しする

- 電子音がピピッと鳴り、オートフォーカスが働きます。ピントが合わないときは、ピピピピッと鳴ります。

- 低照度時にオートフォーカスでピントが合いにくい場合、[モニター表示速度] を [60fps] に設定してください。



近づいて撮る (マクロ撮影)

撮影モード：

花などの被写体に近づいて撮りたいときに設定します。

1  ボタン (◀) を押す

2 ◀▶ でモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

 [AF マクロ]	ズームを最も広角 (W 端) にすると、レンズから 3 cm まで接近して撮影できます。
 [ズームマクロ] ^{*1}	被写体に近づいて、さらに拡大して撮りたいときに合わせてください。W 端の距離 (3 cm) のまま、最大 3 倍までデジタルズームして撮影します。 <ul style="list-style-type: none">• 通常撮影時よりも画質が劣化します。• ズーム領域表示は青色 (デジタルズーム領域) になります。

*1 撮影モードや設定によっては選べません。

手動でピントを合わせる

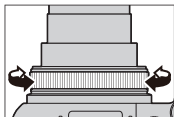
撮影モード：

ピントを固定して撮影したいときや、オートフォーカスでピントが合いにくい環境では、マニュアルフォーカスが便利です。

1  ボタン (◀) を押す

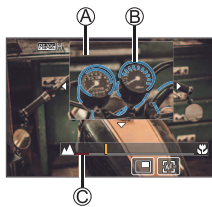
2 ◀▶ で [MF] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 コントロールリングを回してピントを調整する





時計回りに回す：
近くにピントを合わせる
反時計回りに回す：
遠くにピントを合わせる

- アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。(MF アシスト)
- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。(ピーキング)
- 近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。(MF ガイド)



- Ⓐ：MF アシスト (拡大画面)
- Ⓑ：ピーキング
- Ⓒ：MF ガイド

操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動
—	ピンチアウト/ ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
	—	画面を拡大 / 縮小
—	 ※1	拡大表示の切り換え (画面の一部 / 画面全体)
[DISP.]	[リセット]	拡大表示する部分を中央に戻す

※1 インテリジェントオートモードでは設定できません。

4 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面が表示されます。

ピントや露出を固定する (AF/AE ロック)

撮影モード： **P** **A** **S** **M** **SCN**

撮影前にピントや露出を固定し、そのまま構図を変えて撮影します。画面の端にピントを合わせたいときや逆光時などに便利です。

- 1 被写体にカメラを向ける
- 2 [AF/AE LOCK] ボタンを押したままピントや露出を固定する
 - [AF/AE LOCK] ボタンを離すと、ロックは解除されます。
- 3 [AF/AE LOCK] ボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

[AF/AE LOCK] の機能を設定する

MENU ボタン → [カスタム]

→ [FOCUS] [フォーカス/リリース] → [AF/AE ロック切換]

[AE LOCK]	露出だけを固定します。
[AF LOCK]	ピントだけを固定します。
[AF/AE LOCK]	ピントと露出を固定します。
[AF-ON]	オートフォーカスが働きます。

露出を補正して撮る

撮影モード： **P** **A** **S** **M** **SCN**

逆光時や、暗すぎる / 明るすぎる場合に露出を補正します。

- 1 ボタン (▲) を押す
- 2 後ダイヤルを回して露出を補正する



- [カスタム] メニューの [露出補正画面の操作] で [上 / 下ボタンの割当] → (露出ブラケット) を設定すると、露出補正画面で露出ブラケットも設定できます。

- 3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。

- マニュアル露出モードでは、ISO 感度を [AUTO] に設定時のみ露出補正できます。 ([Q.MENU] ボタンでクイックメニューを表示して、露出補正を選択してください)

ホワイトバランスを調整する

撮影モード：**iA iA⁺ P AS M**  

光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 [WB] ボタン (▶) を押す

2 後ダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ

[AWB] / [AWBc]	環境光に応じて、自動で色合いを調整します。 <ul style="list-style-type: none">白熱電球下など赤みがかかる光源下では、<ul style="list-style-type: none">- [AWB] は見た目の印象を優先し、赤みを残します。- [AWBc] は被写体本来の色を優先し、赤みを抑えます。明るい環境下では、[AWB] と同じ色に調整される場合があります。赤みがかかる光源下以外では、[AWB] と [AWBc] は同じ色に調整します。
[☀]	晴天下に適した色合いに調整します。
[☁]	曇天下に適した色合いに調整します。
[☷]	日陰に適した色合いに調整します。
[💡]	白熱灯の照明下に適した色合いに調整します。
[WB] *1	フラッシュ撮影時に適した色合いに調整します。
[1] / [2] / [3] / [4]	手動で設定した設定値を使用します。 <ol style="list-style-type: none">▲ を押す画面中央の枠内に紙など白いものを映し、シャッターボタンを押す<ul style="list-style-type: none">ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。

[WB]	色温度でホワイトバランスを設定できます。 <ol style="list-style-type: none">▲ を押す▲▼ で色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
------	---

*1 動画、4K フォト、フォーカスセレクト撮影時は [AWB] の動作になります。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。

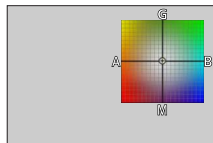
ホワイトバランスを微調整する

ホワイトバランスを設定しても思いどおりの色合いにならないときに、微調整することができます。

1 ホワイトバランスを選び、▼ を押す

2 ▲▼◀▶ でホワイトバランスを微調整する

- [DISP.] ボタンを押すと中心点に戻ります。
- 後ダイヤルを回すとブラケットの設定ができます。(P.43)



3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しで、撮影画面に戻ります。

ドライブモードを選ぶ (連写 / セルフタイマー)

撮影モード： **P** **A** **S** **M** **SCN**

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

1 ボタン (▼) を押す

2 ◀▶ でドライブモードを選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

単写	シャッターボタンを押すと1枚だけ撮影します。
連写	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
4K フォト (P.35)	シャッターボタンを押すと4Kフォトで撮影します。
フォーカスセレクト (P.39)	シャッターボタンを押すとフォーカスセレクト撮影をします。
セルフタイマー	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。

■ドライブモードを解除する

手順 2 で (単写) または を選ぶ。

連写

- ① 左の手順 2 で連写を選んで ▲ を押す
- ② ◀▶ で連写速度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

		[H] (高速)	[M] (中速)	[L] (低速)
連写速度	AFS/MF	10 コマ / 秒	7 コマ / 秒	2 コマ / 秒
	AFF/AFC	6 コマ / 秒	6 コマ / 秒	
連写中の ライブ ビュー	AFS/MF	なし	あり	あり
	AFF/AFC	あり		

- フラッシュ使用時は無効になります。

セルフタイマー

- ① 左の手順 2 でセルフタイマーを選んで ▲ を押す
- ② ◀▶ で動作設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す


	10 秒後に撮影します。
	10 秒後に約 2 秒間隔で 3 枚撮影します。
	2 秒後に撮影します。
	● シャッターボタンを押したときのカメラのブレを防ぐのにも効果的です。

4K フォトで撮る

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

約 800 万画素の写真を 30 コマ / 秒で連写撮影します。撮影後、連写ファイルから一瞬を選び出し、保存することができます。

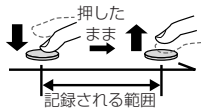
- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。

- 1 **[4K]**  ボタン (▼) を押す
- 2 ◀▶ で 4K フォトを選び、▲ を押す
- 3 ◀▶ で撮影方法を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

4K 連写

動きが速い被写体のベストな一瞬をとらえたいときシャッターボタンを押している間、連写撮影します。

- シャッターボタン全押しから約 0.5 秒後に撮影が開始されるので、早めに全押ししてください。



4K 連写 (S/S)

S/S とは「Start/Stop」の略を表します。

いつ起こるか分からないシャッターチャンスをとらえたいときシャッターボタンを押すと連写 開始 (1 回目) 終了 (2 回目) 撮影を開始します。もう一度押すと、連写撮影を終了します。



4K プリ連写

シャッターチャンスの瞬間に合わせて撮りたいときシャッターボタンを押した瞬間の前後約 1 秒を連写撮影します。






4 シャッターボタンを押して撮影する





- 4K 連写 (S/S) で撮影中に [Fn1] ボタンを押すと、マーカーを付けることができます。(1 回の記録につき最大 40 個まで) 4K 連写ファイルから写真を選び保存するときに、マーカーを付けた位置へスキップできます。
- 連写した画像は、1 つの 4K 連写ファイルとして MP4 形式で保存されます。
- オートレビューを設定している場合、写真を選ぶ画面が自動で表示されます。続けて撮影する場合は、シャッターボタンを半押しして、撮影画面を表示してください。

■手ブレを抑えて撮る

[比較明合成] や [軌跡合成] を行う場合、カメラのブレを抑えるために、三脚を使用し、スマートフォンと接続してリモート撮影することをお勧めします。(P.69)

■4K フォトを解除する

[] ボタン (▼) を押して [] (単写) または [] を選ぶ。

- 周囲の温度が高かったり、連続で 4K フォトの撮影を行ったとき、[] が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- [] (4K プリ連写) に設定しているときは、バッテリーの消耗が早くなり、本機の温度も上昇します。(本機の保護のため、[] (4K 連写) に切り換わる場合があります) 撮影するときだけ [] (4K プリ連写) に設定してください。
- 連続記録時間が 15 分を超えると記録を停止します。SDHC メモリーカード使用時は、ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は一時中断することなく続けることができます) SDXC メモリーカードを使用すると、ファイルサイズが 4 GB を超えても 1 つのファイルとして記録できます。
- 撮影時、画角が狭くなります。

4K 連写ファイルから写真を保存する

- 写真を選んで保存 → 以下の操作をしてください。
- 写真を一括で保存 → 38 ページへ。

- 1 再生画面で [▲] が付いた画像を選び、▲を押す



- [4K] (4K プリ連写) で撮影した場合は、手順 3 へ進んでください。

- 2 スライダーをドラッグし、おおまかにシーンを選ぶ



- [Fn2] (Fn2) をタッチすると、4K 連写再生画面でシーンを選ぶことができます。(ページ右)
- [Fn1] をタッチすると、マーカー操作画面に切り換わります。(P.38)

- 3 ドラッグし、写真として保存するコマを選ぶ

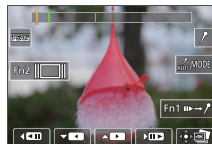


- 連続してシーンまたはコマを戻す / 送るには、[<] / [>] をタッチし続けてください。

- 4 [MENU/SET] をタッチし、写真を保存する

- 選んだ写真は、4K 連写ファイルとは別に JPEG 形式で新規保存されます。

4K 連写再生画面



一時停止中



連続再生中

操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶ / ⏸	連続再生 / 一時停止 (連続再生中)
▼	◀ / ⏸	連続戻し再生 / 一時停止 (連続戻し再生中)
☂	▶▶ / ⏸	早送り再生 / コマ送り (一時停止中)
	◀◀ / ⏸	早戻し再生 / コマ戻し (一時停止中)
[Fn1]	Fn1	マーカー操作への切り換え (P.38)
[Fn2]	Fn2	スライドフォートセレクト画面を表示 (一時停止中)
[MENU/SET]	MENU/SET	写真の保存 (一時停止中)

マーカー

4K 連写ファイルから写真を選んで保存するときに、マーカーの位置へスキップすると、写真を選びやすくなります。

白色：撮影時や再生時に手で設定したマーカー

緑色：撮影時にカメラが自動で設定したマーカー
(オートマーキング機能^{*1})

^{*1} カメラが動きや顔を検出し、自動でマーカーを設定します。
(1 ファイルにつき最大 10 個まで)

例) - 乗り物が横切るシーン
- 風船が割れるシーン
- 人が振り向くシーン



マーカー操作画面

- 次のような場合、撮影条件や被写体の状態によって、オートマーキング機能によるマーカーが設定されないときがあります。
 - 流し撮りや手ブレなどでカメラが動いている
 - 被写体の動きが遅い / 小さい、被写体が小さい
 - 顔が正面を向いていない

■ マーカーの位置へスキップする

[**▶→/**] をタッチすると、マーカー操作画面に切り換わります。**◀▶** でマーカーの位置へスキップして写真を選択することができます。

[**/→▶**] をタッチすると、元の操作に戻ります。

■ 表示するマーカーを切り換える

① [**ALTO/MODE**] をタッチする

設定：[オート] / [顔優先] / [動き優先] / [OFF]^{*2}

^{*2} 手動で設定したマーカーのみ表示します。

写真を一括で保存する

4K 連写ファイルから、5 秒分の写真を一括保存することができます。

- オートレビューを設定している場合、4K フォト撮影後にスライドフォトセレクト画面が自動で表示されます。シャッターボタンを半押しし、撮影画面を表示してから、以下の操作を行ってください。

MENU ボタン → **▶** [再生] → [4K フォト一括保存]

1 **◀▶** で 4K 連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 連写時間が 5 秒以下の場合、すべてのコマを写真として保存します。

2 一括で写真として保存する最初のコマを選ぶ

- 選択方法は、4K 連写ファイルから写真として保存するコマを選ぶ操作と同じです。
- 写真は JPEG 形式で、ひとつの連写グループとして保存されます。

撮影後にピントを操作する (フォーカスセレクト/フォーカス合成)

撮影モード：

4K 連写でピント位置を変えながら撮影し、撮影後にピント位置を選ぶことができます。

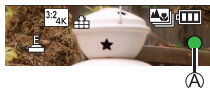
動きのない被写体に適した機能です。

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。
- フォーカス合成する場合は、三脚の使用をお勧めします。

1 ボタン (▼) を押す

2 ◀▶ でフォーカスセレクトを選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

3 構図を決めて、 シャッターボタン を半押しする



- オートフォーカスが働き、画面内のピント位置を検出します。(シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります)
- 画面内にピントが合う位置がない場合、フォーカス表示 (A) が点滅し、撮影できません。

シャッターボタン半押し後から撮影終了までは





- 被写体との距離や構図が変わらないようにしてください。


4 シャッターボタンを全押しして撮影を開始する



- ピント位置を自動で変えながら撮影します。撮影進捗バー (B) が消えると、撮影が自動で終了します。
- 1つのファイルとして MP4 形式で保存されます。
- オートレビューを設定している場合、ピントを合わせる位置を選ぶ画面が自動で表示されます。(P.40)

■フォーカスセレクトを解除する

  ボタン (▼) を押して  (単写) または  を選ぶ。

- 周囲の温度が高かったり、連続でフォーカスセレクト撮影を行ったとき、 が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- 撮影時、画角が狭くなります。

ピントを合わせる位置を選び、 写真を保存する（フォーカスセレクト）

1 再生画面で [▲▼◀▶] が付いた画像を選び、▲を押す

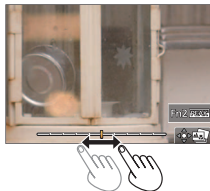


2 ピントを合わせる位置をタッチする

- 選んだ位置にピントが合う写真がない場合、赤い枠が表示され、写真を保存できません。
- 画面の端は選べません。



- 拡大表示中は、スライドバーをドラッグし、ピントを微調整することができます。（◀▶でも操作できます）



3 [◀▶] をタッチし、写真を保存する

- 選んだ写真は、別ファイルとして JPEG 形式で新規保存されます。

操作	タッチ操作	操作内容
	タッチ	ピント位置の選択 • 拡大表示中は選択できません。
		表示の拡大 / 表示の縮小（拡大表示中）
[Fn1]		フォーカス合成操作への切り換え (P.41)
[Fn2]		ピントが合った部分に色を付けて表示（ピーキング） • [PEAK OFF] → [PEAK L]（低） → [PEAK H]（高）の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存

ピントが合う範囲を選び、1枚の写真に合成する（フォーカス合成）



近い ← ピント → 遠い

- 40 ページの手順 2 で、画面の [Fn2] をタッチする
- 合成方法をタッチする

自動合成	合成に適した写真を自動で選び、1枚の写真に合成します。 <ul style="list-style-type: none"> 近距離側の写真を優先して選びます。 合成が実行され写真が保存されます。
指定範囲合成	選択したピント位置の写真を1枚の写真に合成します。

（[指定範囲合成] 選択時）

3 ピントを合わせる位置をタッチする

- 2点以上の位置を選んでください。
- 選択した2点の間にピントが合っている位置があれば、その位置も選択されます。
- 選択できない位置や、選択すると不自然な写真になる可能性がある位置はグレーで表示されます。
- もう一度、タッチすると選択が解除されます。



操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	位置の選択
[Fn2]	[設定/解除]	位置の設定 / 解除
[DISP.]	[全範囲]	すべての位置を選択（位置の選択前）
	[リセット]	すべての選択を解除（位置の選択後）
[MENU/SET]	⏏ [Fn2]	写真の合成・保存

4 [Fn2] をタッチし、写真を合成し保存する


- 写真は JPEG 形式で保存され、最も近い位置の写真のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報（Exif 情報）も記録されます。
- 次の場合、不自然な写真に合成されることがあります。
 - 被写体が動いた場合
 - 被写体までの距離の差が大きい場合
 - ボケ具合が大きい場合（絞り値を大きくして撮影すると不自然さが軽減することがあります）
- 手ブレによる画像のずれを自動で調整します。その場合、合成時に画角がわずかに狭くなります。
- フォーカス合成できるのは本機でフォーカスセレクト撮影した画像のみです。




設定を自動的に変えながら撮る (ブラケット撮影)

撮影モード：

シャッターボタンを押すと、自動的に設定を変えて複数枚の画像を撮影できます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [ブラケット]
→ [ブラケット種類]

 (露出ブラケット)	シャッターボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。
 (絞りブラケット)	シャッターボタンを押すと、絞り値を変えながら撮影します。
FOCUS (フォーカスブラケット)	シャッターボタンを押すと、ピント位置を変えながら撮影します。
WB  (ホワイトバランス ブラケット)	1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動的に3枚撮影します。

2 ▼で [詳細設定] を選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- シャッターボタンを半押ししてメニューを終了してください。


3 ピントを合わせて撮影する

■ ブラケットを解除する

手順 **1** で [OFF] を選ぶ。

露出ブラケット


詳細設定 (左の手順 2)

補正幅	撮影枚数と露出補正幅を設定します。 [3・1/3] (3枚撮影・1/3 EV幅) ~ [7・1] (7枚撮影・1 EV幅)
ブラケット順序	画像の撮影順を設定します。
単写時撮影方法 ^{*1}	[<input type="checkbox"/>] : シャッターボタンを押すごとに 1枚撮影。 [] : 1回シャッターボタンを押すと 設定枚数すべてを撮影。

^{*1} 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連続撮影します。

- 露出ブラケット設定時は、設定枚数分がすべて撮影されるまでブラケット表示が点滅します。設定枚数分がすべて撮影されるまでにブラケットの設定を変更したり、電源を切ったりした場合は、1枚目からの撮影になります。

絞りブラケット

撮影モード：^{*1}

^{*1} ISO感度を [AUTO] に設定時のみ

詳細設定 (左の手順 2)

撮影枚数	[3] : 開始時の絞り値を基準に、前後の 絞り値で設定枚数を撮影。 [ALL] : すべての絞り値で撮影。
------	--

- 連写設定時は、シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連続撮影されます。

フォーカスブラケット

詳細設定 (42 ページの手順 2)

補正幅	ピント合わせの幅を設定します。 <ul style="list-style-type: none">1つの補正幅でピント位置をずらす距離は、開始時のピント位置に近い場合は短く、遠い場合は長くなります。
撮影枚数*1	撮影枚数を設定します。
ブラケット順序	[0/-/+]: 開始時のピント位置を基準に、前後にピント位置をずらして撮影します。 [0/+]: 開始時のピント位置を基準に、遠距離側へピント位置をずらして撮影します。

*1 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押している間、連続撮影されます。

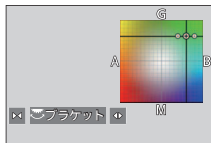
- フォーカスブラケット撮影した写真はひとつのグループ画像としてまとめて表示されます。

ホワイトバランスブラケット

詳細設定 (42 ページの手順 2)

後ダイヤルを回して補正幅を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

	縦方向 (G ~ M) / 横方向 (A ~ B)
--	------------------------------



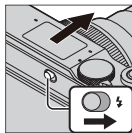
フラッシュを使って撮る

撮影モード: 

■内蔵フラッシュを開く / 閉じる

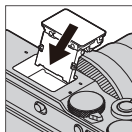
開くとき
フラッシュオープンレバーをスライドさせる

- フラッシュが飛び出しますので、お気をつけください。



閉じるとき
フラッシュを「カチッ」と音がするまで押す

- 指などを挟まないようにお気をつけください。



- 無理に閉じようとすると故障の原因になります。
- 使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じてください。
- フラッシュを閉じているときは、発光禁止 ([🚫]) に固定されます。

- 次の場合、発光禁止 ([🚫]) に固定されます。

- 動画撮影時
- 4K フォト撮影時
- 電子シャッター使用時
- [HDR] を [ON] に設定時
- フォーカスセレクト撮影時
- [サイレントモード] を [ON] に設定時
- [フィルター設定] の [フィルター効果] で画像効果設定時

フラッシュモードを切り換える

撮影モード：iA iA+ P AS M M SCN

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

MENU ボタン → **[撮影]** → **[フラッシュ設定]**
→ **[フラッシュモード]**

<p> : 強制発光</p> <p> : 赤目軽減 強制発光</p>	<p>フラッシュを強制的に発光させます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。
<p> S : スローシンクロ</p> <p> S : 赤目軽減 スローシンクロ</p>	<p>フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。 シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。

フラッシュは2回発光します。特に []、[] に設定した場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

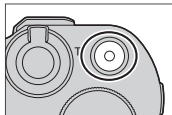
動画を撮る

撮影モード：iA iA+ P AS M M SCN

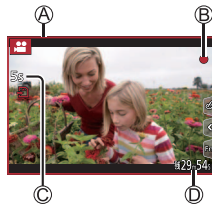
MP4 で記録される 4K 動画やフルハイビジョン動画などを撮影できます。

音声はステレオで記録されます。

1 動画ボタンを押して、撮影を開始する



- 各動画モードに適した動画が撮影できます。
- 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。
- シャッターボタンを全押しすると、動画撮影中に写真を撮ることができます。(クリエイティブ動画モードを除く)



- A** : 動画記録中の赤枠表示
- B** : 記録中 (赤点灯)
- C** : 記録経過時間
- D** : 残り記録可能時間


2 もう一度動画ボタンを押して、終了する

■ 4K 動画を撮影する場合

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。
- 4K 動画撮影時は、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。
- 高い精度でピントを合わせるためにオートフォーカスの速度を抑えて撮影します。オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。異常ではありません。

- 静かな環境下での撮影では、絞りやフォーカスなどの動作音が録音されることがあります。これは異常ではありません。

動画撮影中のフォーカス動作は [AF 連続動作] で [OFF] に設定することができます。

- 周囲の温度が高かったり、連続で動画撮影を行ったとき、 が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

■ 画質を選ぶ (MP4)

MENU ボタン →  [動画] → [画質設定]

[4K/100M/30p]^{*1} / [4K/100M/24p]^{*1} /
[FHD/28M/60p] / [FHD/20M/30p] / [HD/10M/30p]

- [FHD]、[HD]：ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は一時中断することなく続けることができます)
[FHD/28M/60p]：連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。
- [4K]：連続記録時間が 15 分を超えると記録を停止します。SDHC メモリーカード使用時は、ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は一時中断することなく続けることができます)
SDXC メモリーカードを使用すると、ファイルサイズが 4 GB を超えても 1 つのファイルとして記録できます。

^{*1} 4K 動画

【M】 クリエイティブ動画モードで動画を撮る


モードダイヤルを [P] / [A] / [S] / [M] のいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッター速度、ISO 感度を変更して、動画を撮影することができます。(プログラムシフト以外)

- 1 モードダイヤルを【M】に合わせる
- 2 メニューを設定する

MENU ボタン → **M** [クリエイティブ動画]
→ [動画露出設定]


設定：[P] / [A] / [S] / [M]

- 3 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を開始する

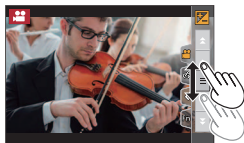
①  をタッチする

（ハイスピード動画撮影時は使えません）

② アイコンをタッチする

T ↑ w ↓	ズーム		露出補正
F	絞り値	ISO	ISO 感度
SS	シャッター速度		

- ③ スライダーをドラッグして設定する



[▼] / [▲] ゆっくり設定を変える

[▼] / [▲] 速く設定を変える

タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。

- 4 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を終了する

- ISO 感度は次の範囲で設定できます。

- [AUTO]、125～6400（[拡張 ISO 感度] を [ON] に設定時は L.80～6400）

[Ⓜ] 4K ライブクロップで動画を撮る

4K 画角からフルハイビジョン動画を切り出すことで、カメラを固定したままパンやズームイン、ズームアウトの動作を加えた動画を記録できます。

- 撮影時は、カメラをしっかり固定してください。
- MP4 の [FHD/20M/30p] で撮影されます。



パン



ズームイン

- ズームイン / ズームアウトの動作を加える場合は、切り出しの開始と終了の画角を異なる設定にしてください。例えば、ズームイン撮影では開始の画角を大きく、終了の画角を小さく設定します。

1 モードダイヤルを [Ⓜ] に合わせる

2 メニューを設定する

MENU ボタン → **Ⓜ** [クリエイティブ動画]
→ [4K ライブクロップ]

設定：[40 秒] / [20 秒] / [OFF]

3 切り出し開始枠を設定し、[MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 同様に切り出し終了枠も設定してください。
- 初回設定時、1920 × 1080 の大きさの開始枠が表示されます。
- 位置や大きさは、電源を切っても記憶されます。



切り出し開始枠



切り出し終了枠

操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	枠の移動
☰☷	ピンチアウト/ ピンチイン	枠の拡大 / 縮小 (1920 × 1080 ~ 3840 × 2160)
[DISP.]	[リセット]	枠の位置と大きさを初回設定時の状態に戻す
[MENU/SET]	[決定]	枠の位置と大きさの決定

- オートフォーカスマードは、[顔認識] (顔認識) に切り換わります。(ピントを合わせる目は表示されません)

4 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を開始する

- 動画ボタン（またはシャッターボタン）は押したあと、すぐに離してください。
- 設定した動作時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。途中で撮影を止めるには、再度動画ボタン（またはシャッターボタン）を押してください。



■切り出し枠の位置や大きさを変更する
撮影画面で [Fn3] ボタンを押し、手順 **3** を行う。

■4K ライブクロップ撮影を解除する
手順 **2** で [OFF] を選ぶ。

- 画角は狭くなります。
 - ハイスピード動画設定時、4K ライブクロップ撮影はできません。
 - ピント合わせは、切り出し開始枠内で固定されます。
 - [AF 連続動作] は [OFF] になります。
 - [測光モード] は [(☉)] (マルチ測光) になります。
- 48 ● 4K ライブクロップ撮影中は、ズームできません。

画像を見る

写真を見る

- 1 [▶] (再生) ボタンを押す
- 2 ◀▶ で表示する画像を選ぶ
 - ◀▶ を押したままにすると、連続して画像を送ることができます。



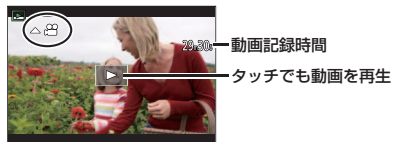
■再生を終了する
再度、[▶] (再生) ボタンを押すか、シャッターボタンを半押ししてください。

- [▶] (再生) ボタンを押しながら電源スイッチを [ON] にすると、再生画面が表示されます。
- [レンズ収納] を [ON] に設定時、再生画面に切り換えると、約 15 秒後にレンズ鏡筒が収納されます。

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は MP4 です。

1 [👤] が付いた画像を選び、▲ を押して再生する



動画再生中の操作

操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/⏸	再生 / 一時停止
◀	◀◀	早戻し*1
	◀⏸	(一時停止中) コマ戻し
▶	▶▶	早送り*1
	⏸▶	(一時停止中) コマ送り
▼	■	停止
☺	− / +	音量を下げる / 音量を上げる

*1 もう一度 ◀▶ を押すと、早戻し / 早送り速度が速くなります。

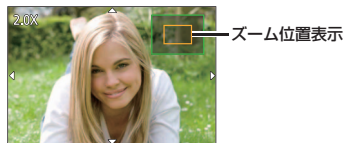
- 一時停止中に [MENU/SET] ボタンを押すと、動画から写真を作成できます。

再生方法を切り換える

再生ズーム

1 ズームレバーを T 側に回す

1 倍 → 2 倍 → 4 倍 → 8 倍 → 16 倍



操作	タッチ操作	操作内容
🔍	—	画像を拡大 / 縮小
—	ピンチアウト / ピンチイン	画像を細かく拡大 / 縮小
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動 (拡大表示中)
☺	—	ズーム倍率、ズーム位置を保持し たまま画像を送る (拡大表示中)

マルチ再生 / カレンダー再生

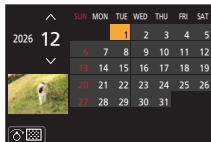
1 ズームレバーを W 側に回す

1 画面 → 12 画面 → 30 画面 → カレンダー画面

- 逆側 (T 側) に回すと、1 つ前に戻ります。



マルチ再生



カレンダー再生

- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。

- [] : 1 画面
- [] : 12 画面
- [] : 30 画面
- [CAL] : カレンダー再生

- 画面を上下にドラッグすると、一覧画面をスクロールできます。
- [!] と表示される画像は再生できません。

■ 1 画面表示に戻す

▲▼◀▶ で画像を選んで、[MENU/SET] ボタンを押す。

- 動画選択時は、動画が自動で再生されます。

写真や動画を消す (消去)

一度消した画像は元に戻せません。

1 枚消去

- 1 消去する画像を表示中に [] ボタンを押す
- 2 ▲ で [1 枚消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

複数消去 (100 枚^{*1} まで) / 全画像消去

*1 グループ画像は 1 枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

- 1 画像を表示中に [] ボタンを押す
- 2 ▲▼ で [複数消去] / [全画像消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - [レーティング] を設定した画像があるときは、[全画像消去] を選択すると [レーティング以外全消去] が選べます。


([複数消去] 選択時)

- 3 ▲▼◀▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す (繰り返し)
 - 解除するとき → 再度 [MENU/SET] ボタンを押す
- 4 [DISP.] ボタンを押して実行する
 - 消去枚数により、時間がかかることがあります。

メニュー一覧

- メニュー項目や設定内容を選択中に [DISP.] ボタンを押すと、メニューの説明が画面に表示されます。(P.23)

各撮影モードでのみ表示されるメニュー

撮影モード：

【インテリジェントオート】メニュー (P.25)

インテリジェントオートモード i 手持ち夜景 iH DR

撮影モード：


【クリエイティブ動画】メニュー (P.46、47)

動画露出設定 ハイ スピード動画 4K ライブクロップ

撮影モード：


【カスタムモード】メニュー (P.28)

[2-1]、[2-2]、[2-3] から使いたいカスタムセットを選べます。

撮影モード：

【シーンガイド】メニュー (P.29)

シーン切換

撮影モード：

【クリエイティブコントロール】メニュー (P.29)

フィルター効果 フィルターなし 同時記録

【撮影】メニュー

画像横縦比 (P.53)

記録画素数 (P.53)

クオリティ (P.54)

AFS/AFF/AFC*¹ (P.54)

ISO 感度*¹ (P.54)

オートフォーカスモード*¹
(P.55)

フォトスタイル*¹ (P.55)

フィルター設定*¹

色空間

測光モード*¹ (P.56)

ハイライトシャドウ*¹

ID レンジコントロール*¹

超解像*¹

フラッシュ設定 (P.44)

ISO オート上限設定 (写真)

下限シャッター速度

長秒ノイズ除去

回折補正*¹

手ブレ補正*¹ (P.56)

iA ズーム*¹ (P.20)

デジタルズーム*¹ (P.20)

連写速度 (P.34)

4K フォト (P.35)

セルフタイマー (P.34)

インターバル撮影

コマ撮りアニメ

サイレントモード (P.57)

シャッター方式 (P.57)

ブラケット (P.42)

HDR

多重露出

【動画】メニュー

画質設定 (P.45)

スナップムービー

AFS/AFF/AFC*¹ (P.54)

AF 連続動作

ISO 感度*¹ (P.54)

オートフォーカスモード*¹
(P.55)

フォトスタイル*¹ (P.55)

フィルター設定*¹

測光モード*¹ (P.56)

ハイライトシャドウ*¹

ID レンジコントロール*¹

超解像*¹

ISO オート上限設定 (動画)

回折補正*¹

手ブレ補正*¹ (P.56)

フリッカー軽減

動画傾き補正	風音キャンセラー
iAズーム*1 (P.20)	ズームマイク
デジタルズーム*1 (P.20)	

*1 [撮影] / [動画] のどちらにもある共通のメニューです。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

[カスタム] メニュー

露出

ISO 感度ステップ	露出補正リセット
拡張 ISO 感度	露出補正画面の操作

フォーカス / リリース

AF/AE ロック切換 (P.32)	ダイレクトフォーカス移動
AF/AE ロック維持	フォーカス / リリース優先
シャッター半押し AF	縦 / 横位置フォーカス切換
シャッター半押しリリース	フォーカス枠のループ移動
クイック AF	AF エリア表示
ピンポイント AF 設定	AF+MF
AF 補助光	MF アシスト
	MF アシスト表示

操作

<small>ファンクション</small> Fn ボタン設定 (P.24)	タッチ設定
Q.MENU	ダイヤル操作ガイド
リング / ダイヤル設定	ズームレバー
操作ロック設定	ズームバック

モニター / 表示

オートレビュー	ハイライト表示
モノクロライブビュー	ゼブラパターン表示
常時レビュー (M モード) (P.27)	露出メーター
ピーキング	MF ガイド
ヒストグラム表示	記録枠表示
ガイドライン表示	残枚数 / 残時間切換
センターマーカー表示	動画記録中の赤枠表示
	メニューガイド

レンズ / その他

レンズ位置メモリー	動画の縦位置情報
レンズ収納	個人認証
セルフタイマー自動解除	プロフィール設定

[セットアップ] メニュー

CLUB Panasonic 登録 (P.94)	WIRELESS 接続ランプ(P.62) 電子音
カスタムセット登録 (P.28)	エコモード
時計設定 (P.18)	モニター表示速度 (P.57)
ワールドタイム	モニター調整
トラベル日付	モニター輝度
Wi-Fi®	テレビ接続設定
Bluetooth®	言語設定

バージョン表示
フォルダー/ファイル設定
番号リセット
設定リセット
ネットワーク設定リセット

水準器調整
デモモード
認証情報 (P.87)
フォーマット (P.17)

👤 [マイメニュー]

マイメニュー設定 (P.58)

▶ [再生] メニュー

スライドショー
再生モード
プロテクト
レーティング
タイトル入力
認証情報編集
RAW 現像 (P.58)
4K フォト一括保存 (P.38)
比較明合成
軌跡合成 (P.60)

クリアレタッチ
文字焼き込み
リサイズ (縮小)
トリミング (切抜き)
画像回転
動画分割 (P.61)
インターバル動画作成
コマ撮りアニメ作成
縦位置自動回転
画像表示順

[画像横縦比]

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

画像の横縦比（アスペクト比）を選択できます。

MENU ボタン → **[撮影]** → **[画像横縦比]**

4:3	4:3 テレビの横縦比
3:2	一般のフィルムカメラの横縦比
16:9	ハイビジョンテレビなどの横縦比
1:1	正方形横縦比

[記録画素数]

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

写真の画像サイズを設定します。

MENU ボタン → **[撮影]** → **[記録画素数]**

■ 記録可能枚数の目安

画像横縦比 [3:2]、クオリティ [] の場合

記録画素数	L (20M)	EXM (10M)	EXS (5M)
32 GB	2910	5310	9220
64 GB	5550	10040	16860
128 GB	11180	20220	33950
256 GB	21880	38500	64170

[クオリティ]

撮影モード：**IA** **IA+** **P** **A** **S** **M** **EM** **SCN**

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン→ [撮影] → [クオリティ]

	JPEG	画質を優先して、JPEG形式で記録します。
		標準画質で、JPEG形式で記録します。
RAW	RAW* ¹ +JPEG	RAW画像とJPEG画像()または()を同時に記録できます。* ²
RAW		
RAW	RAW* ¹	RAW形式で記録します。

*¹ 画像横縦比は [3:2] (5472 × 3648) で記録されます。

*² 本機で消去すると、RAW画像とJPEG画像が同時に消去されます。

- [再生] メニューの [RAW 現像] で RAW 画像を現像できます。(P.58)

[AFS/AFF/AFC]

撮影モード：**IA** **IA+** **P** **A** **S** **M** **EM** **SCN**

シャッターボタン半押し時のピント合わせの動作を設定します。

MENU ボタン→ [撮影] / [動画] → [AFS/AFF/AFC]

AFS	静止している被写体 (風景、記念撮影など)
AFF	動きが予測できない被写体 (子ども、ペットなど)* ¹
AFC	動いている被写体 (スポーツ、鉄道など)* ¹

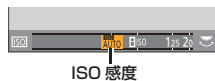
*¹ 撮影時に予測してピント合わせを行います。(動体予測)

[ISO 感度]

撮影モード：**IA** **IA+** **P** **A** **S** **M** **EM** **SCN**

ISO 感度 (光に対する感度) を設定します。

MENU ボタン→ [撮影] / [動画] → [ISO 感度]



AUTO	被写体の明るさに応じて、自動で感度を調整します。
ISO (インテリジェント ISO)	被写体の動きと明るさに応じて、自動で感度とシャッタースピードを調整します。
L.80 * ¹ 、 L.100 * ¹ 、 125 ~ 12800 、 H.25600 * ¹	それぞれの ISO 感度に固定します。

*¹ [拡張 ISO 感度] が [ON] の場合のみ

- シャッター優先 AE モード時やマニュアル露出モード時は、**[ISO]** は選択できません。
- クリエイティブ動画モード ([動画] メニューの [ISO 感度] から設定)、4K フォト、フォーカスセレクト撮影時は、次の範囲で設定できます。
 - [AUTO]、125 ~ 6400 ([拡張 ISO 感度] を [ON] に設定時は L.80 ~ 6400)

【オートフォーカスモード】

撮影モード：

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

MENU ボタン → 【撮影】 / 【動画】
→ 【オートフォーカスモード】

(顔・瞳認識)	人の顔と目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。 ^{*1} <ul style="list-style-type: none"> 検知できる顔は 15 個までです。検知できる目はピントを合わせる顔の目だけです。
(追尾)	動いている被写体に、自動でピントと露出 ^{*1} を合わせ続けます。(動体追尾) <ul style="list-style-type: none"> 被写体を追尾 AF エリアに合わせ、シャッターボタンを半押しし、追尾する被写体をロックしてください。 ロックを解除する → 【MENU/SET】 ボタンを押す
(49 点)	撮影画面の広範囲 (最大 49 点) の中の被写体にピントを合わせます。
(カスタムマルチ) など	49 点の AF エリアから、被写体に合わせて、自由に AF エリアの形状を設定できます。
(1 点)	画面中央の AF エリアにピントが合います。
(ピンポイント)	(1 点) より小さな点で繊細なピント合わせができます。

^{*1} 【測光モード】 を (マルチ測光) に設定時

【フォトスタイル】

撮影モード：

撮りたいイメージに合わせて、色や画質を調整できます。

MENU ボタン → 【撮影】 / 【動画】
→ 【フォトスタイル】

STD. 【スタンダード】	標準的な設定です。
VIVID 【ヴィヴィッド】	彩度やコントラストが高めの設定です。
NAT 【ナチュラル】	コントラストが低めの設定です。
MONO 【モノクローム】	白黒など、単色の階調のみで表現する設定です。
LMONO 【L. モノクローム】	階調が豊かで黒の引き締まったモノクロ効果です。
SCNY 【風景】	青空や緑を鮮やかにする設定です。
PORT 【人物】	肌色を健康的に見せる設定です。
CUST 【カスタム】	あらかじめ登録した色や画質に設定できます。

• インテリジェントオートプラスモードでは、【スタンダード】と【モノクローム】のみ設定できます。

■調整した画質の設定を【カスタム】に登録する
次ページの「画質を調整する」の手順 ② で画質を調整し、【DISP.】ボタンを押す

■画質を調整する

- ① ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ
 ② ▲▼ で項目を選び、◀▶ で調整する

C コントラスト	+ : 画像の明暗差を大きくします。 - : 画像の明暗差を小さくします。
S シャープネス	+ : 画像の輪郭を強調します。 - : 画像の輪郭を柔らかくします。
NR ノイズリダクション	+ : ノイズを軽減します。 - : より解像感のある画質を得ることが出来ます。
彩度 *1	+ : 派手で鮮やかな色になります。 - : 落ち着いた色になります。
色調 *1	+ : 青っぽい色になります。 - : 黄色っぽい色になります。
フィルター効果 *2	黄 : 青空をくっきりと撮影できます。 オレンジ : 青空を色濃く撮影できます。 赤 : 青空をさらに色濃く撮影できます。 緑 : 人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。

*1 [モノクローム]、[L.モノクローム] 選択時のみ [色調] が表示されます。それ以外では [彩度] が表示されます。

*2 [モノクローム]、[L.モノクローム] 選択時のみ表示されます。

- 画質を調整すると、フォトスタイルアイコンに [+] が表示されます。

- ③ [MENU/SET] ボタンを押す

[測光モード]

撮影モード： **P** **A** **S** **M** **SCN**

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

MENU ボタン → [撮影] / [動画] → [測光モード]

マルチ測光	明るさの測定位置：画面全体 通常使用（バランスがとれた写真になります）
中央重点	明るさの測定位置：画面中央とその周囲 被写体が画面中央にあるとき
スポット	明るさの測定位置：[+]（スポット測光ターゲット）の中心 被写体と背景の明るさが極端に異なるとき（舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など）

[手ブレ補正]

撮影モード： **P** **A** **S** **M** **SCN**

手ブレを自動で感知して補正します。

MENU ボタン → [撮影] / [動画] → [手ブレ補正]

(通常)	上下左右の動きに対する手ブレを補正します。
(流し撮り)	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮りするときに適しています。
OFF	手ブレ補正は働きません。




[サイレントモード]

撮影モード：  **PAS**   

操作音と発光の禁止を一括で設定します。

MENU ボタン →  **[撮影]** → **[サイレントモード]**

設定：[ON] / [OFF]

- スピーカーからの音声は消音に、フラッシュや AF 補助光は発光禁止に設定されます。次の機能は固定されます。
 - [フラッシュモード]：[(発光禁止)]
 - [シャッター方式]：[電子シャッター]
 - [AF 補助光]：[OFF]
 - [電子音音量]：[(OFF)]
 - [シャッター音音量]：[(OFF)]
- [ON] に設定時も、次の機能は点灯 / 点滅します。
 - セルフタイマーランプ
 - WIRELESS 接続ランプ
- レンズの絞りの音など、本機の動作音は消音されません。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

[シャッター方式]


撮影モード：  **PAS**   

写真撮影時のシャッター方式を選びます。

MENU ボタン →  **[撮影]** → **[シャッター方式]**

自動切換	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式が自動で切り換わります。
メカシャッター	メカシャッター方式のみで撮影します。 シャッタースピード： T (タイム) *1、60 秒～ 1/2000 秒
電子シャッター*2	電子シャッター方式のみで撮影します。 シャッタースピード：1 秒～ 1/16000 秒

*1 マニュアル露出モード時のみ、設定できます。

*2 フラッシュは [(発光禁止)] に固定されます。

[モニター表示速度]

モニターの表示速度を設定します。

MENU ボタン →  **[セットアップ]**
→ **[モニター表示速度]**

30fps *1	電力消費を抑え、使用時間が長くなります。
60fps	動きを滑らかに表示できます。動きの速い被写体を撮影する場合に適しています。

*1 デジタルズームは使用できません。

- 表示速度の設定は、撮影画像に影響ありません。

[マイメニュー設定]

よく使うメニューを登録し、[マイメニュー] に表示します。23 項目まで登録できます。

MENU ボタン →  [マイメニュー]
→ [マイメニュー設定]

登録	マイメニューに表示するメニューを選び、登録します。
並べ換え	マイメニューに表示するときの順番を変更します。変更するメニューを選び、移動先を設定してください。
消去	マイメニューの表示から登録したメニューを消去します。 [項目消去]：表示させているメニューから選び、消去します。 [全消去]：表示させているメニューをすべて消去します。
マイメニューから表示	メニュー画面を表示するときに、表示する画面を設定します。 [ON]：マイメニューを表示します。 [OFF]：最後に使ったメニューを表示します。

[RAW 現像]

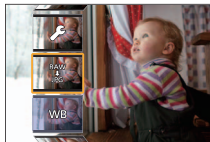
RAW 形式で撮影した写真をカメラで現像できます。作成した写真は JPEG 形式で保存されます。

MENU ボタン →  [再生] → [RAW 現像]

1 ◀▶ で RAW 画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲▼ で項目を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、設定する

- 以下の項目が設定できません。設定を始めるときは、撮影時の設定が反映されています。



ホワイトバランス
明るさ補正
フォトスタイル
iD レンジコントロール
コントラスト
ハイライト
シャドウ

彩度 / 色調
フィルター効果
ノイズリダクション
超解像
シャープネス
詳細設定 (P.59)

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する


- 手順 2 に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順 2 ~ 3 を繰り返してください。

4 ▲▼ で [RAW 現像実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■各項目の設定方法

項目を選ぶと、設定画面が表示されます。



操作	タッチ操作	操作内容
 	ドラッグ	調整の選択
▲	[色温度設定]	色温度設定画面を表示 ([ホワイトバランス]の[]区 選択時のみ)
▼	[調整]	ホワイトバランス微調整画面を 表示 ([ホワイトバランス] 選択 時のみ)
[DISP.]	[DISP.]	比較画面を表示
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画 面に戻る

- [ノイズリダクション]、[超解像]、[シャープネス] 選択時、比較画面の表示はできません。
- 画像を2回連続で素早くタッチすると拡大表示できます。(拡大表示していた場合は、等倍表示に戻ります)

比較画面では以下の方法で調整ができます。



現在の設定

操作	タッチ操作	操作内容
 	ドラッグ	調整の選択
[DISP.]	[DISP.]	設定画面に戻る
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画 面に戻る

- 中央の写真をタッチすると拡大表示できます。
[↶] をタッチすると元の表示に戻ります。

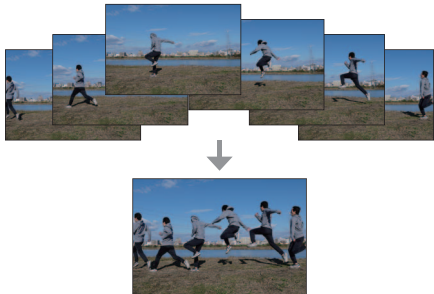
■[詳細設定] 選択時

▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、次の操作ができます。

調整前に戻す	撮影時の設定に戻すことができます。
色空間	色空間を選べます。
記録画素数	保存時の JPEG 画像のサイズを選べます。

【軌跡合成】

4K 連写ファイルから合成したいコマを複数枚選び、動いている被写体の軌跡を 1 枚の写真に合成します。



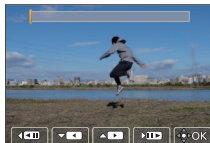
MENU ボタン → **[再生]** → **[軌跡合成]**

1 ◀▶ で 4K 連写ファイルを選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す

2 合成したいコマを選ぶ

コマの前後で動いている被写体が重ならないように、コマを選択してください。(被写体が重なると正しく合成されない場合があります)

① スライダーをドラッグするか、▲▼◀▶ で合成したいコマを選ぶ



② **[MENU/SET]** ボタンを押す

- 選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。
- ▲▼で項目を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押すと、次の操作ができます。
 - [次の画像]：さらに合成したいコマを選べます。
 - [選び直す]：直前で選んだコマを破棄し、選び直します。

③ 手順 ①～② を繰り返し、合成したいコマを選ぶ (3 コマ～40 コマ)

④ ▼ で **[保存]** を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す

- 軌跡合成に使用する画像を撮影時は、三脚の使用をお勧めします。
- 写真は JPEG 形式で保存され、1 コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。

【動画分割】

撮影した動画を2つに分割します。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。

MENU ボタン →  **【再生】** → **【動画分割】**

1 ◀▶ で分割する動画を選び、**【MENU/SET】** ボタンを押す

2 分割したい位置で ▲ を押し一時停止する

- 一時停止中に ▶▶ を押し、分割位置の細かい調整をすることができます。



3 ▼ を押す

- 分割した元の動画は残りません。

- 分割中は、電源を切ったり、カードやバッテリーを抜かないでください。動画が消失するおそれがあります。
- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。

Wi-Fi®/Bluetooth® 機能でできること

- スマートフォンで、カメラのシャッターボタンを操作する（リモート撮影）（P.69）
- スマートフォンで、カメラの画像を再生する（P.70）
- カメラの画像をスマートフォンに転送する（P.71）
- スナップムービーで撮影した動画をスマートフォンでお好みに結合する

Bluetooth Low Energy に対応したスマートフォンと接続して、さらに広がる楽しみ方

- ペ어링（接続設定）（P.64）
- スマートフォンで、カメラの電源を操作する（P.68）
- パルプ撮影をする（P.69）
- 撮影した画像をスマートフォンに自動転送する（P.72）
- 撮影する画像にスマートフォンの位置情報を記録する（P.73）
- カメラの時刻をスマートフォンに合わせる（P.73）

- 特にスマートフォンとタブレットを区別しない限り、本書では「スマートフォン」と記載します。

Wi-Fi/Bluetooth 機能について

■ご使用の前に

- あらかじめ時計を設定してください。(P.18)
- 本機で Wi-Fi 機能を使用するには、接続先の機器に無線 LAN 機能が必要です。

■WIRELESS 接続ランプの表示 (青色)

点灯	Wi-Fi/Bluetooth 機能 ON 時、または接続中
点滅	カメラ操作で画像データ送信時

- [セットアップ] メニューの [WIRELESS 接続ランプ] で、点灯 / 点滅しないように設定できます。

- 本機は公衆無線 LAN 回線、およびご自宅の無線 LAN ルーターを経由して他機器と通信することはできません。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。

[Wi-Fi] ボタン

本書では [Wi-Fi] を設定したファンクションボタンを [Wi-Fi] ボタンと記載して説明しています。

(お買い上げ時の設定 → 撮影時: [Fn4]
再生時: [Fn1])

- ファンクションボタンについて詳しくは (P.24)

■ [Wi-Fi] ボタンを押す操作 (撮影時)

- ① [Fn] をタッチする
- ② [Fn4] をタッチする



Wi-Fi 接続していないときに [Wi-Fi] ボタンを押すと、本機がスマートフォンとの接続待機状態になり、スマートフォンに直接接続することができます。

■ Wi-Fi 接続後に [Wi-Fi] ボタンを押す

以下の項目を選択できます。

接続を終わる	今の接続先をお気に入りに入れる
接続先を変える	ネットワークアドレス表示
画像の送信設定を変える	

スマートフォンと接続する

お使いのスマートフォンに「Panasonic Image App」(以降では「Image App」と表記)をインストールする必要があります。

スマートフォン/タブレットアプリ「Panasonic Image App」をインストールする

対応 OS

Android™	Android 11 以上
iOS	iOS 16 以上

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ ストア」を選ぶ
(iOS) 「App Store」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「Panasonic Image App」
または「LUMIX」と入力する
- 4 「Panasonic Image App」を選び、
インストールする



- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応 OS は 2026 年 4 月現在のものです。また、対応 OS は変更する場合があります。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。
「Image App」の最新情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- 対応 OS や「Image App」のバージョンによって、本書に掲載している画面や内容と一部異なる場合があります。

Bluetooth Low Energy 対応のスマートフォンと接続する

カメラとスマートフォンを Bluetooth 接続します。


対応スマートフォン

Android	Android 11 以上で、Bluetooth 4.0 以上を搭載
iOS	iOS 16 以上

■初めて接続する

初回のみペアリング設定（接続設定）が必要です。
（2 回目以降の接続：65 ページ）
ペアリング設定をすると、Wi-Fi 接続も自動で行います。

（カメラ側）

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth]
→ [Bluetooth] → [設定] → [ペアリング]

- カメラがペアリングの待機状態になり、デバイス名が表示されます。



（スマートフォン側）

- ① [Image App] を起動する
 - カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。
- ② [Bluetooth] を選ぶ
- ③ Bluetooth を ON にする
- ④ [登録可能な機器] の項目から、カメラの画面に表示されているデバイス名を選ぶ
 - カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続されます。
[接続] を選ぶと、Wi-Fi 接続されます。

■ ペ어링済みのスマートフォンと接続する (2回目以降の接続)

(カメラ側)

① Bluetooth 機能を有効にする

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth]
→ [Bluetooth] → [ON]

(スマートフォン側)

② 「Image App」を起動する

- カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

③ [Bluetooth] を選ぶ

④ Bluetooth を ON にする

⑤ [登録済みの機器] の項目から、接続したいカメラ
(デバイス名) を選ぶ

■ Bluetooth 接続を終了する


MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth]
→ [Bluetooth] → [OFF]

- 接続を終了し、カメラの Bluetooth 機能が停止します。
- 接続を終了してもペアリング設定は解除されません。

■ ペ어링設定を解除する

(カメラ側)



① メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth]
→ [Bluetooth] → [設定] → [解除]

② 解除したいスマートフォンを選ぶ

(スマートフォン側)

[登録済みの機器] の項目から、ペアリングを解除したいカメラ (デバイス名) を選び、登録解除する


- Bluetooth 接続中は撮影画面に  が表示されます。Bluetooth 機能が有効になっていても、スマートフォンと接続されていないときは  が半透明で表示されます。

Bluetooth Low Energy に対応していないスマートフォンと接続する

スマートフォンと Wi-Fi 接続を行います。

- Bluetooth Low Energy に対応したスマートフォンでも、同じ操作で Wi-Fi 接続できます。

(カメラ側)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する]
→ [スマートフォンとつないで使う]

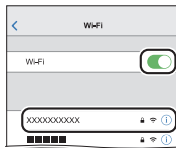
- スマートフォンをカメラに直接接続するために必要な情報 (QR コード、SSID とパスワード) が表示されます。



(スマートフォン側)

1 設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする

2 Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ



3 カメラに表示されたパスワードを入力する (初回接続時のみ)

4 「Image App」を起動する


- QR コードを使って接続することもできます。詳しくは、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)をお読みください。

Wi-Fi 接続を終了する

1 カメラを撮影モードにする

- シャッターボタン半押しで撮影モードに戻ります。

2 カメラのメニューで Wi-Fi 接続を終了する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi 機能] → [はい]



3 スマートフォンで「Image App」を終了する

スマートフォンとつないで使う

■ 必要な無線接続の種類

スマートフォンとつないで使う機能により、必要な無線接続の種類が異なります。

必要な無線接続	Bluetooth Low Energy の対応
Bluetooth	Bluetooth Low Energy 対応のスマートフォンで使えます。
Wi-Fi	Bluetooth Low Energy に対応していないスマートフォンでも使えます。
Bluetooth Wi-Fi	Bluetooth Low Energy 対応のスマートフォンで使えます。 <ul style="list-style-type: none">Bluetooth と Wi-Fi の両方でスマートフォンと接続する必要があります。

Bluetooth Wi-Fi スマートフォンで、
カメラの電源を操作する

離れた場所からカメラの電源を入れて撮影したり、かばんの中にカメラを入れたまま電源を入れて画像を確認したりできます。



- 1 スマートフォンと Bluetooth 接続する (P.64)
- 2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [リモート起動] → [ON]

- 3 カメラの電源を切る
- 4 スマートフォンで「Image App」を起動し、Bluetooth 接続可能な状態 (スタンバイ) にする

5 スマートフォンを操作する

- ① [] を選ぶ



- ② [リモート操作] を選ぶ

- カメラの電源が入り、自動で Wi-Fi 接続を行います。
 - スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi 設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。

■ カメラの電源を切る

- ① [] を選ぶ


- ② [OFF] を選ぶ

- [リモート起動] を [ON] に設定時、カメラの電源を切っても Bluetooth 機能が動いたため、バッテリーが消耗します。

Wi-Fi スマートフォンで、カメラのシャッターボタンを操作する（リモート撮影）

1 スマートフォンと接続する（P.66）

2 スマートフォンを操作する

すでに Bluetooth 接続している場合は、 → [リモート操作] を選んでください。

Wi-Fi 設定画面で接続先の変更が必要な場合は、メッセージに従って設定してください。


① を選ぶ



② 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。



■ カメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi 設定] → [リモート優先操作設定]

 (カメラ)	カメラとスマートフォンの両方で操作できます。 <ul style="list-style-type: none">• ダイヤルの設定はスマートフォンで変更できません。
 (スマートフォン)	スマートフォンでのみ操作できます。 <ul style="list-style-type: none">• ダイヤルもスマートフォンで操作できます。• リモート撮影を終了するときは、カメラのいずれかのボタンを押して画面を表示し、[終了] を選んでください。

Bluetooth Bluetooth 接続だけで、スマートフォンでシャッターボタンを操作する

1 スマートフォンと Bluetooth 接続する（P.64）

2 スマートフォンを操作する

① を選ぶ



② [シャッターリモコン] を選ぶ


③ 撮影する

- [シャッターリモコン] を使ってカメラの電源を入れることはできません。
- カメラのライブビューはスマートフォンで確認できません。
- マニュアル露出モードで、シャッター速度を T（タイム）に設定しておくこと、最大 120 秒の B（バルブ）撮影ができるため、星空や夜景の撮影に最適です。詳しくは、「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）をお読みください。
- [Image App] の [シャッターリモコン] の操作について、詳しくは [Image App] のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

■スリープモードからの復帰時間を短くする

スマートフォンを使って [スリープモード] から復帰するときに、優先して使うスマートフォンの機能を選びます。

準備：[Bluetooth] と [リモート起動] を [ON] に設定する (P.68)

MENU ボタン →  **【セットアップ】** → **[Bluetooth]**
→ **[スリープモードからの復帰動作]**

リモート操作 / 画像転送優先

[リモート操作] や [画像転送] を使って復帰するときにかかる時間を短くします。


シャッターリモコン優先

[シャッターリモコン] を使って復帰するときにかかる時間を短くします。

Wi-Fi スマートフォンで、カメラの画像を再生する

1 スマートフォンと接続する (P.66)

2 スマートフォンを操作する

すでに Bluetooth 接続している場合は、
[] → [リモート操作] を選んでください。
Wi-Fi 設定画面で接続先の変更が必要な場合は、メッセージに従って設定してください。

① [>] を選ぶ

- 画面左上のアイコンで、表示する画像の機器を切り換えられます。カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。



② 画像をタッチすると、画像が大きく再生されます

- 動画再生時は、データサイズを小さくして「Image App」に送信しているため、実際に撮影された画質とは異なります。動画や写真の再生時に、画質劣化や音飛びが発生する場合があります。

Wi-Fi カメラの画像をスマートフォンに転送する

1 スマートフォンと接続する (P.66)

2 スマートフォンを操作する

すでに Bluetooth 接続している場合は、
[🏠] → [リモート操作] を選んでください。
Wi-Fi 設定画面で接続先の変更が必要な場合は、メッセージに従って設定してください。

① [画像転送] を選ぶ

② [選んで転送] を選ぶ

- カメラ内の画像が表示されます。



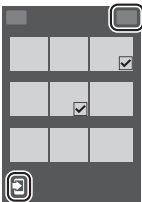
③ 画面右上の [選択] を選ぶ

④ 転送したい画像をタッチして選ぶ

- 選択した画像にチェックマークが表示されます。

⑤ 画面下部の [📁] を選ぶ

- 選択した画像がスマートフォンに転送されます。



手順 **2** の②で [まとめて転送] を選ぶと、撮影期間と画像の種類を指定して画像をまとめて転送できません。詳しくは、「Image App」の「ヘルプ」をお読みください。

- 4K 動画、4K 連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像は転送できません。

Bluetooth Wi-Fi 撮影した画像をスマートフォンに自動転送する

Bluetooth で接続したスマートフォンに、撮影した画像を Wi-Fi で自動転送します。

1 スマートフォンと Bluetooth 接続する (P.64)

2 カメラのメニューを設定する


MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [自動画像転送] → [ON]

- カメラに Wi-Fi 接続の終了確認画面が表示されたら、[はい] を選んで終了してください。

3 スマートフォンで [はい] を選ぶ

- Wi-Fi 接続を自動で行います。

4 カメラで送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。
- 自動画像転送できる状態になり、撮影画面に  が表示されます。(表示されないときは自動画像転送できません。スマートフォンとの Wi-Fi 接続状況をご確認ください)

5 カメラで写真を撮影する

- ファイルを送信中は  が表示されます。



[自動画像転送] を [ON] にしておくと、次回カメラの電源を入れてスマートフォンで「Image App」を起動したときに、自動で Wi-Fi/Bluetooth 接続機能が働き、自動画像転送できる状態になります。

■ 自動画像転送を終了する

手順 **2** で [OFF] を選ぶと、Wi-Fi 接続の終了確認画面が表示されます。

- [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定時は、[Wi-Fi 機能] が使用できません。
- 画像を転送中にカメラの電源が切れてファイルの送信が中断された場合は、カメラの電源を入れ直すと送信を再開します。
- 動画、4K 連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像は自動転送できません。

Bluetooth 撮影する画像にスマートフォンの位置情報を記録する

スマートフォンの位置情報を Bluetooth でカメラに送信し、位置情報を書き込みながら撮影します。

準備：スマートフォンの GPS 機能を有効にする。

- 1 スマートフォンと Bluetooth 接続する (P.64)
- 2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [位置情報記録] → [ON]

- 位置情報の記録ができる状態になり、撮影画面に [GPS] が表示されます。

- 3 カメラで撮影する

- 撮影した画像に位置情報が書き込まれます。

[GPS] が半透明で表示されるときは

位置情報が取得できないため書き込みできません。建物やかばんの中などでは、スマートフォンの GPS が測位できない場合があります。

- 空を広く見渡せる場所など測位しやすい場所に移動してお試してください。
- スマートフォンの説明書もお読みください。


- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS] が表示されます。

- 位置情報の取得中はスマートフォンの電池の消費が早くなります。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

Bluetooth カメラの時刻をスマートフォンに合わせる

[セットアップ] メニューの [時計設定] と、[ワールドタイム] の [ホーム] または [旅行先] の設定を、スマートフォンの設定に合わせます。

- 1 スマートフォンと Bluetooth 接続する (P.64)
- 2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [自動時刻合わせ] → [ON]

写真や動画をパソコンに残す

ソフトウェアをダウンロードする

- ソフトウェアをダウンロードするためには、パソコンをインターネットに接続する必要があります。
- 通信環境によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 対応 OS は 2026 年 4 月現在のものです。また、対応 OS は変更する場合があります。

PHOTOfunSTUDIO 10.0 AE

写真や動画をパソコンに取り込んで、撮影日やデジタルカメラの機種名などで分類できます。また、画像補正や動画編集、DVD への書き込みなどもできます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード/インストールしてください。(2031 年 5 月まで有効)

https://panasonic.jp/support/software/photofun/download/d_pfs10ae.html

動作環境

対応 OS	Windows® 8.1 (32 bit/64 bit) Windows® 10 (32 bit/64 bit) Windows® 11 ● 4K 動画、4K フォトをご利用の場合、Windows 8.1 / 10 の 64 bit 版 OS または Windows 11 が必要です。
CPU	Pentium® 4 2.8 GHz 以上

ディスプレイ	1024 × 768 以上 (1920 × 1080 以上を推奨)
搭載メモリ	1 GB 以上 (32 bit) / 2 GB 以上 (64 bit)
ハードディスク	インストールに 450 MB 以上の空き容量

- 4K 動画の再生、編集機能や、4K フォトの写真切り出し機能をご利用の場合の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書 (PDF) をお読みください。
- 「PHOTOfunSTUDIO」は Mac では使えません。

SILKYPIX Developer Studio SE

RAW ファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式 (JPEG、TIFF など) で保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード/インストールしてください。

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/>

対応 OS : Windows 10 (64 bit)、Windows 11
macOS 10.13 ~ 10.15、11、12、
13、14

- SILKYPIX Developer Studio の動作環境や使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」またはテクノホライゾンのサポートサイトをご覧ください。

パソコンに画像を取り込む

準備：パソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。(P.74)

1 本機とパソコンの電源を入れ、USB 接続ケーブルでつなぐ

- USB 規格に準拠した市販の Type-C USB 接続ケーブルをお使いください。

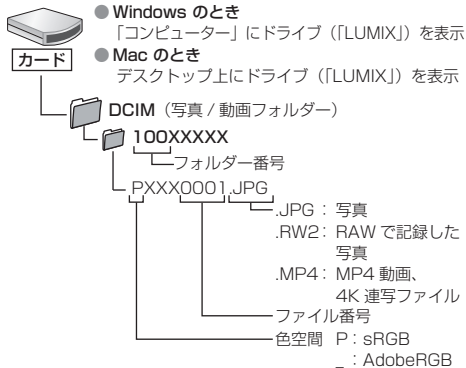
2 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーを、Windows のエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

■「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグ&ドロップするとパソコンに画像を保存することができます。

- 本機のカードの中（フォルダー構造）は以下のようになります。

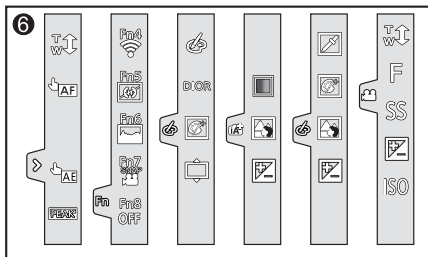
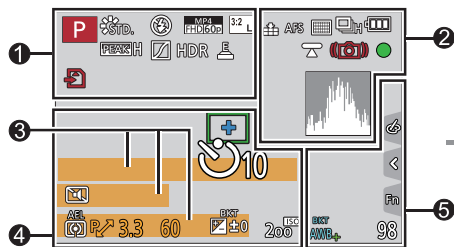


モニターの表示一覧

モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

- 表示されるヒストグラムや倍率、数値などの情報は目安です。
- 再生時の画面については、「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)をお読みください。

撮影時



①		撮影モード (P.19)
		フォトスタイル (P.55)
		フラッシュ設定 (P.44)
		画質設定 (P.45)
		スナップムービー (P.51)

	画像横縦比 / 記録画素数 (P.53)
	画像効果 (フィルター) 調整表示
	画像効果 (フィルター) 種別
	カード (記録時のみ表示)
	記録経過時間*1 (P.44)
	同時記録表示 (動画撮影中に写真を撮影時)
	ピーキング
	ハイライトシャドウ (P.51)

HDR	HDR (P.51) /iHDR (P.51)
	多重露出 (P.51)
	電子シャッター (P.57)
	温度上昇表示 (P.82)

②

	クオリティ (P.54)
120fps	ハイスピード動画 (P.51)
AFS AFF AFC MF	AFS/AFF/AFC (P.54) /MF (P.31)
	フォーカスブラケット (P.43)
	オートフォーカスモード (P.55)
	プリント送り (スナップムービー (P.51) の設定)
	個人認証 (P.52)
AFL	AFロック (P.32)
	連写 (P.34)
	4K フォト (P.35)
	フォーカスセレクト (P.39)
	セルフタイマー (P.34)
	バッテリー残量表示

	マクロ撮影 (P.30)
	動画傾き補正 (P.52)
	手ブレ補正 (P.56)
	手ブレ警告表示
	フォーカス (緑点灯) (P.20) / 記録動作 (赤点灯) (P.44)
	フォーカス (低照度時)
	フォーカス (星空 AF 時)
	Wi-Fi 接続状態
	Bluetooth 接続状態 (P.65)
GPS	位置情報記録 (P.73)
	ヒストグラム表示 (P.52)

③

名前^{**2}

トラベル経過日数^{**3}

月齢 / 年齢^{**2}












旅行先^{**3}

現在日時 / 旅行先設定^{**3} :





露出メーター

ズーム表示

4












	AF エリア
	スポット測光ターゲット (P.56)
	センターマーカー表示 (P.52)
	セルフタイマー (P.34)
	ズームマイク (P.52)
	サイレントモード (P.57)
AEL	AE ロック (P.32)
	測光モード (P.56)
	プログラムシフト (P.26)
3.3	絞り値 (P.20)
 BKT 3.3	絞りブラケット (P.42)
60	シャッタースピード (P.20)
 BKT ±0	露出補正 (P.32)
	露出ブラケット (P.42)
	明るさ (露出)
	マニュアル露出アシスト (P.27)
 200	ISO 感度 (P.54)











5

	ダイヤル操作ガイド (P.52)
	ホワイトバランス (P.33)
 BKT AWB+	ホワイトバランスブラケット (P.43) ホワイトバランス微調整 (P.33)
	色合い
98	記録可能枚数 (P.53)
r20	連続撮影可能枚数
残 XXmXXs	記録可能時間*1 (P.44)

6

タッチタブ

		タッチズーム
		タッチシャッター
		タッチ AF
		タッチ AE
		ピーキング
	Fn4	ファンクションボタン (P.24)
		
	Fn5	
		
	Fn6	
		
	Fn7	
		
Fn8		
OFF		

  		色合い
		ボケ味コントロール
		明るさ (露出)
		ぼかし方 (ジオラマ)
		ワンポイントカラー
		サンシャイン
		画像効果 (フィルター) 調整表示
		画像効果の入 / 切
	DIOR	画像効果 (フィルター)
	F	絞り値 (P.46)
	SS	シャッタースピード (P.46)
	ISO	ISO 感度 (P.46)

*1 h は「hour (時間)」、m は「minute (分)」、s は「second (秒)」を省略した表示です。

*2 [プロフィール設定] を設定時、電源を入れた場合に約 5 秒間表示されます。

*3 電源を入れたとき / 時計設定後 / 再生から撮影モードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。

メッセージ表示

画面に表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

- 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF形式)には、より多くが記載されています。併せてご確認ください。

メモリーカードエラー / フォーマットしますか？	パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット (P.17) してください。 別のカードを入れてお試しください。
リードエラー / ライトエラー / カードを確認してください	カードが確実に入っているか確認してください。(P.17) 電源を切ってからカードを抜き、再びカードを入れてから電源を入れてください。 別のカードを入れてお試しください。
メモリーカードエラー / このカードは使用できません	対応するカードをお使いください。(P.17)
このバッテリーは使えません	パナソニック純正バッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。 バッテリーの端子部のごみなどを取り除いてください。
消去できない画像があります / この画像は消去できません	DCF 規格に準拠していない画像は消去できません。パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去してください。(P.17)

Q&A 故障かな?と思ったら



まず、81～83 ページの方法をお試しく下さい。

それでも解決できない場合は、

【セットアップ】メニューの【設定リセット】を行うと症状が改善する場合があります。(P.53)

• 症状が改善しない場合は「保証とアフターサービス」(P.92)をお読みください。

• 「取扱説明書 活用ガイド」(PDF 形式)には、より多くが記載されています。併せてご確認ください。

充電ランプが点滅している。	温度が極端に高い、または低いところで充電している。 → 周囲の温度が 10℃～30℃(バッテリーの温度も同様)のところで USB 接続ケーブルをつなぎ直し、再度充電をお試しく下さい。
	パソコンの給電能力が低い場合は、充電できません。
電源を入れても動作しない。 電源を入れてもすぐ切れる。	バッテリーが消耗している。 → 充電してください。(P.14)
バッテリーの消耗が早い。	[ (4K プリ連写)]で撮影できる状態では、バッテリーの消耗が早くなります。撮影するときだけ [ (4K プリ連写)]に設定してください。
ピントが合わない。	撮影可能範囲から外れている。 [フォーカス/リリース優先]が[リリース]になっている。(P.52) [シャッター半押し AF]が[OFF]になっている。(P.52) 不適切な状態で AF ロック (P.32) がかかっている。 レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい被写体にピントが合わない場合があります。
撮影した画像がブレる。 手ブレ補正が効かない。	暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。 → 遅いシャッタースピードで撮影するときは、三脚とセルフタイマー (P.34) の使用をお勧めします。
被写体が曲がって撮影される。	電子シャッター撮影時、動画撮影時または 4K フォト撮影時、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。これは、本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。

<p>蛍光灯や LED などの照明下で、ちらつきや横しが出るとある。</p>	<p>本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。</p> <p>電子シャッターで写真を撮影している場合は、シャッタースピードを遅くすると横しみが軽減されることがあります。(P.26)</p> <p>動画撮影中、蛍光灯や LED などの照明下でちらつきや横しみが目立つ場合、[フリッカー軽減](P.51)を設定してください。シャッタースピードを固定することで、ちらつきや横しみを軽減できます。クリエイティブ動画モード(P.46)でも手動でシャッタースピードを設定できます。</p>
<p>1 回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。</p>	<p>以下の設定をご確認ください。いずれかだけでも設定している場合は、複数枚撮影します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - ドライブモードを [単写] 以外に設定している。 <ul style="list-style-type: none"> → ドライブモードを [単写] に設定してください。(P.34) - ブラケットを設定している。 <ul style="list-style-type: none"> → 画面に [BKT] 付きのアイコン (例: [BKT ±0], [BKT AWB] など) が表示されている場合は、ブラケット撮影の設定になっています。[撮影] メニューの [ブラケット] で、[ブラケット種類] を [OFF] に設定してください。(P.42)
<p>撮影した画像の明るさや色合いが実際と違う。</p>	<p>蛍光灯や LED などの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合がある。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。</p> <p>極端に明るい場所で被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横しみが現れたりすることがあります。</p>
<p>4K フォトの撮影が途中で止まる。</p>	<p>周囲の温度が高かったり、連続で 4K フォトの撮影を行ったとき、[△] が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。</p>
<p>動画が撮影できない。</p>	<p>容量の大きなカードをご使用の場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。</p>
<p>動画撮影が途中で止まる。</p>	<p>周囲の温度が高かったり、連続で動画撮影を行ったとき、[△] が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。</p> <p>動画の [画質設定] によって必要なカードのスピードクラスが異なります。対応したカードをお使いください。(P.17)</p>
<p>4K 動画撮影時、オートフォーカスでピントが合いにくいことがある。</p>	<p>高い精度でピントを合わせるために、オートフォーカスの速度を抑えて撮影する場合に生じる現象ですので、異常ではありません。</p>

フラッシュが発光しない。	<p>次の場合は発光しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> - フラッシュを閉じている。(P.43) - [🚫] (発光禁止) になっている。(P.43) <p>[シャッター方式] を [自動切換] または [メカシャッター] に設定してください。(P.57)</p> <p>[サイレントモード] を [OFF] に設定してください。(P.57)</p>
再生できない。 撮影した画像がない。	<p>カメラにカードが入っていない。</p> <p>パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機では再生できません。</p> <p>→ パソコンからカードに画像を書き込む場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」(P.74) を使うことをお勧めします。</p> <p>[再生モード] を [通常再生] に設定してください。(P.53)</p>
接続できない。 電波が途切れる。 (Wi-Fi)	<ul style="list-style-type: none"> • スマートフォンなどの接続する機器をカメラに近づけて通信を行ってください。(通信距離は使用環境等により大きく変化します) • 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで同時に使用された場合、電波が途切れることがあります。 → 機器から十分に離してご使用ください。 • スマートフォンなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、本機と接続できません。スマートフォンなどの接続する機器側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。 • バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかつたり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー] などのメッセージが表示されます) • 本機を金属のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくくなる場合があります。金属面から離してご使用ください。
画像送信が途中で失敗する。 送信できなかった画像がある。 (Wi-Fi)	<p>画像のサイズが大きすぎませんか？</p> <p>→ [動画分割] で動画を分割して送信してください。(P.61)</p> <p>→ [送信サイズ] で画像サイズを小さくして送信してください。</p> <p>画像のファイル形式やお使いの機器によって送信できない場合があります。</p>
レンズ部から音がする。	<p>電源を入れたり、切ったりするときレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。</p> <p>ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさの変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。</p>
ズームの動きが一瞬止まる。	EX 光学ズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。
本機が熱くなる。	ご使用時、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。
時計が合っていない。	<p>本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。</p> <p>→ 再度時計を設定してください。(P.18)</p>

使用上のお願いとお知らせ

お使いのとき / お手入れのとき

- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど）からはできるだけ離れて使ってください。
- スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。
 - スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。
- レンズ部を強く押さないでください。
- レーザー光などの強い光線を、直接、本機（レンズ）に照射しないでください。撮像素子が破損し、本機の故障の原因になることがあります。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- [エコモード] の [スリープモード] と [スリープモード (Wi-Fi)] を [OFF] に設定すると、本機の消費電力が増加する場合があります。
- お手入れの際は、**バッテリー、カード（別売）を取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。**
 - 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
 - ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるとおそれがありますので使用しないでください。

- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- レンズバリア部を触らないでください。



レンズバリア部

バッテリーについて

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。



充電式
リチウムイオン
電池使用

Li-ion 20

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.com>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

Wi-Fi 機能について

■本機は無線 LAN 機器としてお使いください

無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。

無線 LAN 機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機の Wi-Fi 機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz 帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用（他社製品との組み合わせ使用含む）、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ハイスピード HDMI マイクロケーブル（Type D - Type A プラグ、3 m 未満）をお使いください。
- USB 延長ケーブルや、USB 変換アダプターは使用しないでください。

本機は VCCI 協会の運用規定に基づく技術基準に適合したマークを画面に電子的に表示します。

表示方法：

[MENU] ボタン →  [セットアップ] → [認証情報]

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニックが独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、[MENU/SET] → [セットアップ] → [バージョン表示] → [ソフト情報] で表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも 3 年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0 または LGPL V2.1 に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。


<https://ospo.panasonic.com/oss>

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して (以下、AVC ビデオ) 記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

無線機能 (Wi-Fi[®] / Bluetooth[®]) 使用上のお願い

本機は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用します。本機の認証情報および周波数表示は、
[MENU] ボタン →  [セットアップ] → [認証情報]
で確認できます。

■ 電波干渉について

他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に留意してご使用ください。

本機の無線機能 (2.4 GHz 帯) が使用する周波数帯は次のとおりです。

2.4DS4/OF4/XX1

2.4 : 2400 MHz 帯を利用する無線設備を表します。
DS/OF/XX : 変調方式が DSSS、OFDM、その他の方式であることを示します。

- 1 : 想定される与干渉距離が約 10 mであることを示します。
- 4 : 想定される与干渉距離が約 40 mであることを示します。

無線機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局 (免許を要する無線局) および特定小電力無線局 (免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局 (免許を要する無線局) が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変更するか、電波の使用を停止したうえ、下記の連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など (例えば、パーティションの設置など) についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記の連絡先へお問い合わせください。
ご相談窓口 (使い方・お手入れなどのご相談)
(→ 93 ページ)

さらに詳しい説明は

さらに詳しい使い方を知りたいときは、「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）をお読みください。

**「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）を
Web サイトからダウンロードする**

「取扱説明書 活用ガイド」は Web サイトからダウンロードできます。

<https://panasonic.jp/support/dsc/oi/TX3jp/index.html>



- 「取扱説明書 活用ガイド」（PDF 形式）を閲覧・印刷するためには、Adobe Reader が必要です。Adobe Reader は、下記のサイトからダウンロードできます。（2026 年 4 月現在）

<http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep2.html>

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源： 7.2 V ===
消費電力： 1.9 W (撮影時) 1.6 W (再生時)

カメラ有効画素数

約 2010 万画素

撮像素子

1.0 型 裏面照射型 (BSI) CMOS イメージセンサー
総画素数約 2090 万画素、原色カラーフィルター

レンズ

光学 15 倍ズーム $f=8.8 \text{ mm} \sim 132 \text{ mm}$
(35 mm フィルムカメラ換算：24 mm \sim 360 mm)
W 端時：F3.3 \sim F8.0
T 端時：F6.4 \sim F8.0

手ブレ補正

光学式

撮影範囲

AF：
50 cm (W 端時) / 1 m (T 端時) $\sim \infty$
AF マクロ / MF / インテリジェントオート / 動画：
3 cm (W 端時) / 1 m (T 端時) $\sim \infty$

シャッターシステム

電子シャッター連動メカニカルシャッター

最低被写体照度

約 10 lx (i ローライト時、シャッタースピード 1/30 秒)

シャッタースピード

写真：T (タイム) (最大約 120 秒間)*1、60 秒 \sim 1/2000 秒
(メカシャッター使用時)

1 秒 \sim 1/16000 秒 (電子シャッター使用時)

*1 シャッターリモコン (Bluetooth 接続) で B (バルブ) 撮影可能
動画：1/25 秒 \sim 1/16000 秒 (MP4 で [4K/100M/24p]

設定時)

1/2 秒 \sim 1/16000 秒

(クリエイティブ動画モードで [M] に設定し、[MF] 選択時)

1/30 秒 \sim 1/16000 秒 (上記以外)

露出

プログラム AE (P)、絞り優先 AE (A)、
シャッター優先 AE (S)、マニュアル露出 (M)
露出補正 (1/3 EV ステップ、 $-5 \text{ EV} \sim +5 \text{ EV}$)

測光方式

マルチ測光 / 中央重点測光 / スポット測光

モニター

3.0 型 TFT 液晶 (3:2) (約 184 万ドット) (視野率約 100%)
タッチパネル

フラッシュ

内蔵ポップアップ式
オート / 赤目軽減オート / 強制発光 / 赤目軽減強制発光 /
スローシンクロ / 赤目軽減スローシンクロ / 発光禁止

マイク

ステレオ

スピーカー

モノラル

記録メディア

SDメモリーカード/SDHCメモリーカード*2/
SDXCメモリーカード*2
*2 UHS-I UHS Speed Class 3 対応

記録画像ファイル形式

写真：RAW/JPEG (DCF 準拠、Exif2.31 準拠)
4K フォト：MP4 (H.264/MPEG-4 AVC)
動画：MP4 (H.264/MPEG-4 AVC、
音声圧縮方式：AAC (2ch))

インターフェース

[HDMI]：Micro HDMI Type D
[USB/CHARGE]：
USB 2.0 (High Speed) /USB Type-C®

寸法

約 幅 111.2 mm × 高さ 66.4 mm × 奥行き 45.2 mm
(突起部除く)

質量

約 337 g (カード、バッテリー含む)
約 295 g (本体)

推奨使用温度

0℃～40℃

許容相対湿度

10%RH～80%RH

言語切り換え

[日本語] / [ENGLISH] (英語) / [简体中文] (簡体字中国語) /
[繁體中文] (繁体字中国語) / [한국어] (韓国語)

■ワイヤレス転送部

無線 LAN

準拠規格

IEEE 802.11b/g/n (無線 LAN 標準プロトコル)

使用周波数範囲 (中心周波数)

2412 MHz～2462 MHz (1～11ch)

暗号化方式

Wi-Fi 準拠 WPA™/WPA2™

アクセス方式

インフラストラクチャーモード

Bluetooth 機能**準拠規格**

Bluetooth v5.0 (Bluetooth Low Energy (BLE))

使用周波数範囲 (中心周波数)

2402 MHz～2480 MHz

リチウムイオンバッテリーパック：DMW-BLG10

電圧 / 容量：7.2 V/1025 mAh

本製品に表示の記号は以下を示しています。

=== DC (直流)

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- USB Type-C® および USB-C® は USB Implementers Forum の登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- Adobe は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- Mac、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Google、Android、Google Play は Google LLC の商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニックホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- "Wi-Fi®" は "Wi-Fi Alliance®" の登録商標です。
- "WPA™"、"WPA2™" は "Wi-Fi Alliance®" の商標です。
- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

修理を依頼されるときは

「メッセージ表示」「Q&A 故障かな? と思ったら」(本書および取扱説明書 活用ガイド (PDF形式)) でご確認のあと、直らないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。付属品や別売品のアクセサリと組み合わせての現象で修理を依頼される場合は、該当の付属品やアクセサリも一緒に修理をご依頼ください。

- | | |
|---------|-----------|
| ● 製品名 | デジタルカメラ |
| ● 品番 | DC-TX3 |
| ● 故障の状況 | できるだけ具体的に |

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

保証書は日本国内においてのみ有効です。

The warranty is valid only in Japan.

保証書承諾内容、仅限于产品在日本国内使用时有效。

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、このデジタルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 5 年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

ご相談窓口

使い方・お手入れなどのご相談

よくあるご質問(FAQ)やチャット
などでご確認、ご相談できます。



<https://panasonic.jp/support/>

固定電話をご利用の方はこちら スマートフォン等をご利用の方はこちら

0120-878-638 0570-087-858 (有料)

受付時間 9:00~18:00 月~土曜日(祝日・正月三が日を除く)

FAXフリーダイヤル 0120-878-236

修理に関するご相談

修理のご相談・お申し込みができます。
【オンライン24時間365日受付】



<https://panasonic.jp/support/repair.html>

フリーダイヤル



0120-878-554

受付時間 9:00~18:00 (一部地域を除く)

左記電話番号が
ご利用いただけない場合は

03-6633-6700

- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。
(バケット定額サービス未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記のURLはお使いの携帯電話などにより、正しく表示されない場合があります。
- ・受付時間などの最新情報はWebサイトをご確認ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。

また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検 長年ご使用のデジタルカメラの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がある
- 映像や音声が乱れたり出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体や AC アダプターが破損した
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、本体の電源を切り、ACアダプター使用時はコンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

「CLUB Panasonic」に「商品登録」をお願いします

ご利用の家電をまとめて登録管理、商品のサポートも充実
詳しくはこちら <https://panasonic.jp/membership/mylist>



- カメラのモニターに表示される QR コードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます。以下の操作をすると QR コードを表示できます。

- ① [MENU] ボタンを押す
- ② [セットアップ] メニューの [CLUB Panasonic 登録] から [QR コード表示] を選ぶ

<無料修理規定>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障し、保証期間内に修理をご依頼いただいた場合には、無料修理をさせていただきます。

(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、取扱説明書から切り離れた本書を添え、お買い上げの販売店にお申しつけください。

(ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合は、修理ご相談窓口にご連絡ください。

2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にご相談ください。

3. ご贈答品等で本保証書に記入された販売店で修理をお受けにならない場合は、修理ご相談窓口にご連絡ください。

4. 保証期間内でも次の場合は、原則として有料にさせていただきます。

(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷

(ロ) 取付場所の移送、輸送、落下、衝撃などによる故障及び損傷

(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷

(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
ただし、車載を目的とした機器は除く

(ホ) 電池や消耗品または摩耗した部品交換の場合

(ヘ) 一般家庭用以外(例えば、業務用など)に使用された場合や指定外の動作環境で使用された場合の故障及び損傷

(ト) 本書のご添付がない場合

(チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合

(リ) 商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等や出張修理等を行った場合の出張料は、お客様の負担となります。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

6. 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

7. 修理ご相談窓口は、本書表面をご参照ください。

修理×モ

※お客様にご記入いただいた個人情報、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきたく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご覧ください。

※修理に際し、本体交換による修理や再生部品、代替部品を使用する場合がございます。交換した本体、再生部品は回収させていただきます。

※ This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

デジタルカメラ保証書

本書はご購入の日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご購入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご購入のの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品番	DC-TX3	
保証期間	ご購入日から 本体 1年間	
※ ご購入日	年	月 日
※ お客様	ご住所 お名前 電話 () — 住所・販売店名 電話 () —	

パナソニック株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号 修理ご相談窓口 0120-878-554

ご購入の販売店へ ※印欄は必ず記入してお渡しいださい。